

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(平成27年度実施事業)



遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク
(平成27年7月10日制定)

平成29年3月
遠野市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会の構成	2
2	教育委員会の会議の招集状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会・臨時会	2
(2)	総合教育会議	5
4	教育委員会の会議以外の活動状況	7
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	13
1	ふるさと教育の推進	16
(1)	就学前教育の充実	16
(2)	学校教育の充実	21
2	生涯学習の推進	36
(1)	社会教育の充実	36
(2)	芸術文化活動の推進	39
3	ふるさとの文化の継承・創造	40
(1)	郷土文化の保存と活用	40
(2)	文化財の保存と継承	44
4	健康づくりの推進	48
(1)	健康づくり総合プログラムの推進	48
IV	外部評価の実施	50

【附属資料】

資料1 第1次 遠野市総合計画 後期基本計画

平成27年度まちづくり指標実績（教育委員会所掌事務関連 27指標）

資料2 平成27年度 主要な施策の成果説明

（教育委員会所掌事務関連 41事務事業）

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条第 1 項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、同条第 2 項の規定により、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

この報告書は、遠野市教育委員会が平成27年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況を、第 1 期遠野市教育振興基本計画（計画年度：平成21年度～平成27年度）の施策体系ごとにまとめ、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

また、附属資料として、平成28年 9 月に遠野市議会に提出された「地方自治法（昭和22年法律第67号）第 233条第 5 項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類（主要な施策の成果説明書）」のうち、遠野市教育委員会の所掌事務に関連する部分を抜粋して掲載しています。

II 教育委員会の活動

1 遠野市教育委員会の構成

(平成28年11月26日現在)

職名	氏名	任期
教育長	中 浜 艶 子	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
委員 (教育長職務代理人)	角 田 直 樹	平成28年11月26日から平成32年11月25日まで
委員	千 田 由美子	平成27年11月26日から平成31年11月25日まで
委員	菊 池 崇	平成28年4月1日から平成32年3月31日まで
委員	菊 池 和 子	平成28年6月17日から平成30年11月25日まで

※ 遠野市教育委員会は、平成28年4月1日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う新教育委員会制度に移行しました。

【平成27年度～平成28年度に改選等のあった委員】

職名	氏名	任期
委員	馬 場 明 子	平成23年11月26日から平成27年11月25日まで
委員	三 浦 芳 昌	平成26年11月26日から平成28年5月31日まで
委員(教育長)	藤 澤 俊 明	平成25年11月26日から平成28年3月31日まで

2 教育委員会の会議の招集状況

平成27年度は、定例会を毎月1回(計12回)、臨時会を5回(7月及び3月に各2回、2月に1回)、計17回会議を招集しました。

3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

(1) 教育委員会定例会・臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、平成27年度に教育委員会定例会及び臨時会において審議した案件は、28件です。

【議案の性質別件数】

分類	項 目	件 数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	2
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	10
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	3
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	—
5	職員の人事異動の方針を定めること	2
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	5
7	附属機関の委員の任免に関すること	4
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	—
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		28

【平成27年度 教育委員会会議 提出議案一覧】

議案番号	件 名	提出日	決議	分類
平成27年4月定例会				
18	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成27年4月24日	承認	7
19	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成27年4月24日	承認	7
平成27年6月定例会				
20	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成27年6月24日	可決	7
平成27年7月臨時会				
21	教職員の人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成27年7月14日	可決	6

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成27年7月第2回臨時会				
22	平成28年度使用中学校教科書用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成27年 7月24日	可決	3
23	平成28年度使用小学校教科書用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成27年 7月24日	可決	3
平成27年度8月定例会				
24	平成27年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	平成27年 8月26日	可決	9
平成27年9月定例会				
25	遠野市就学指導委員会委員の委嘱・任命に関し議決を求めることについて	平成27年 9月30日	可決	7
平成27年10月定例会				
26	遠野市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年 10月28日	可決	2
27	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	平成27年 10月28日	可決	10
28	平成28年度遠野市立小中学校教職員の定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	平成27年 10月28日	可決	5
平成27年12月定例会				
29	教育機関の廃止に関し議決を求めることについて	平成27年 12月25日	可決	3
30	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する規程の制定について	平成27年 12月25日	可決	2
平成28年2月定例会				
1	平成28年4月1日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成28年 2月17日	可決	5
2	平成28年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	平成28年 2月17日	可決	1
平成28年2月臨時会				
3	平成28年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成28年 2月26日	可決	6
平成28年3月臨時会				
4	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	平成28年 3月17日	可決	6

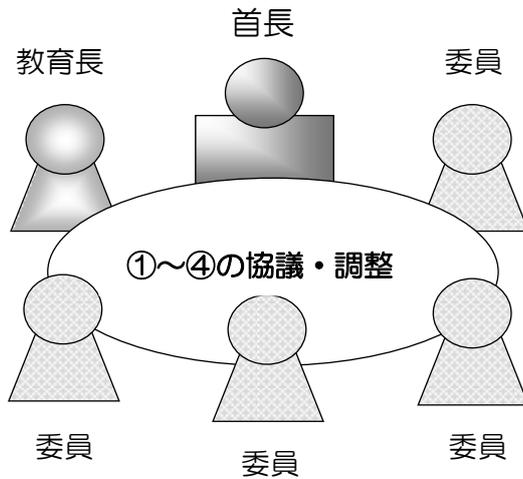
議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成28年3月定例会				
5	遠野市教育委員会の権限に属する事務の一部の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
6	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
7	遠野市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
8	遠野市立幼稚園管理運営規則を廃止する規則の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
9	遠野市教育長の権限に属する事務の委任に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
10	遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
11	遠野市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
12	遠野市立小中学校で使用する諸表簿の様式を定める規程の制定について	平成28年 3月23日	可決	2
13	第2期遠野市教育振興基本計画の策定に関し議決を求めることについて	平成28年 3月23日	可決	1
14	遠野市教育委員会委員の辞職の同意について	平成28年 3月23日	同意	6
平成28年3月第2回臨時会				
15	遠野市教育委員会委員の辞職の同意について	平成28年 3月29日	同意	6

(2) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）により、首長は、首長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を設けることとされました。

総合教育会議は、首長と教育委員会とが、対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

【総合教育会議の概要】



※ 市長の諮問を受けて調査・研究・審議を行う「附属機関」には当たらないとされている。

- 首長が招集する。
- 会議は原則として公開する。
- 構成員は首長と教育委員会。
(必要に応じて、意見聴取者の出席を要請する。)

- 「協議」とは・・・
幅広く行われる、首長と教育委員会相互の自由な意見交換。
- 「調整」とは・・・
教育委員会の権限に属する事務と、首長の権限に属する事務の調和を図ること。

- ① 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議
- ② 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議
- ③ 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議
- ④ ①から③までの事項に関する構成員の事務の調整



- 首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にするとともに、
首長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- 首長と教育委員会が上記①～④の協議・調整を行うことにより、
両者が教育政策の方向性を共有し、一致して事務の執行に当たることが可能に

平成27年度は、5回の総合教育会議が招集され、次の内容について協議しました。

回数・開催期日	協議内容
第1回 平成27年5月29日	(1) 遠野市総合教育会議の設置要綱について (2) 教育に関する大綱の策定について (3) 教育を取り巻く諸課題についての意見交換について
第2回 平成27年8月7日	(1) いじめ防止対策推進法への遠野市の対応について (2) 遠野市保育施設の再編計画(案)について (3) 小中学校の施設整備について

第3回 平成27年11月20日	(1) 遠野市いじめ防止等基本方針（案）について (2) 遠野市総合計画前期計画掲載予定新規事業について
第4回 平成28年1月5日	県立高等学校再編計画案に伴う遠野市の取組について
第5回 平成28年1月29日	県立高校再編計画案に係る支援策等について

4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の委員は、上記に掲げる会議のほか、以下のとおり各種行事等に出席しました。

【遠野市議会】

月	会 議 名 等
6月	本会議（委員長及び教育長） 予算審査特別委員会、議員全員協議会（教育長）
9月	本会議（委員長及び教育長） 予算審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）
12月	本会議（委員長及び教育長） 予算審査特別委員会、議員全員協議会（教育長）
3月	本会議（委員長及び教育長） 予算審査特別委員会、議員全員協議会（教育長）

【学校訪問】

月	行 事 名 等
7月	学校懇談会（綾織小学校）
8月	学校懇談会（小友小学校）
9月	遠野まるごと給食（青笹小学校）
10月	学校公開研究会（遠野中学校、上郷小学校、鱒沢小学校） 遠野まるごと給食（遠野西中学校）
11月	遠野まるごと給食（宮守小学校）

【各種行事等】

月	行 事 名 等
4月	平成27年4月1日付け教育委員会事務局定期人事異動辞令交付式 新採用教職員辞令交付式 遠野市立小中学校転入教職員等着任式 特別支援教育支援員研修会 小学校入学式 中学校入学式

	遠野市教育研究所運営委員会 教育研究指定校連絡会議 遠野市奨学生選考委員会 遠野市学校保健会定期総会 遠野市スポーツ推進員辞令交付式 学力向上研究員部会・社会科副読本部会
5月	遠野市芸術文化協会総会 遠野市生徒指導推進協議会総会 学力向上対策会議 遠野市就学指導委員会 小学校運動会 中学校体育祭 教科用図書採択協議会 遠野市文化財保護審議会 遠野市教育研究会一斉研修会
6月	遠野市地域教育協議会連絡会 中学校総合体育大会遠野地区大会 今後の県立高校に関する地域検討会議 各町町民運動会 釜石地区租税教育推進協議会定期総会 JFAこころのプロジェクト 遠野わらすっこ「夢の教室」 (附馬牛小学校)
7月	遠野市総合食育センター運営審議会 釜石遠野地区教科用図書採択協議会選定委員会 遠野市教育振興基本計画策定委員会・策定チーム会議 遠野市教育機関共通ロゴマーク表彰式 県中学校総合体育大会 要保護児童対策地域協議会 柏木平リバーサイドまつり・遠野わらすっこまつり 平成南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」 八戸市児童受入れ 遠野市教育振興基本計画検討委員会議 遠野市教育研究所全体研修会
8月	平成南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」 遠野市児童派遣 遠野市防災会議 今後の県立高校に関する地域検討会議 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会 大府市児童都市間交流 日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン 市立小中学校長会議

9月	<p>JFAこころのプロジェクト 遠野わらすっこ「夢の教室」 (青笹小学校、上郷小学校)</p> <p>わたしの主張遠野大会</p> <p>遠野中学校区授業交流会 (綾織小学校)</p> <p>中学校総合体育大会新人大会</p> <p>遠野市総合計画審議会</p> <p>建設業ふれあい事業 (遠野西中学校)</p>
10月	<p>市制施行10周年記念式典</p> <p>希望郷いわて国体1年前イベント「カウントダウンボード」除幕式</p> <p>ぱすぽる食育まつり</p> <p>市内継走大会</p> <p>遠野市総合計画審議会</p> <p>遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・ 評価会議</p> <p>学校公開 (遠野中学校、上郷小学校、鱒沢小学校)</p> <p>遠野市総合計画審議会</p> <p>文部科学省 木造校舎視察対応</p> <p>遠野市就学指導委員会</p> <p>遠野市教育振興基本計画検討委員会</p> <p>小学校学習発表会</p> <p>希望郷いわて国体サッカー競技リハーサル大会</p> <p>遠野スタイル創造・発展有識者会議</p> <p>今後の県立高校に関する地域検討会議</p> <p>学校懇談会 (遠野東中学校)</p> <p>遠野市教育研究所研究員部会 (遠野東中学校区、遠野西中学校区)</p>
11月	<p>JFAこころのプロジェクト 遠野わらすっこ「夢の教室」 (小友小学校・鱒沢小学校、土淵小学校、綾織小学校)</p> <p>遠野市地区中学校総合文化祭</p> <p>生徒指導推進協議会</p> <p>学力向上対策会議</p> <p>遠野市地域教育協議会連絡会</p> <p>教育研究所運営委員会</p> <p>教育委員会委員感謝状贈呈式及び辞令交付式</p> <p>就学指導委員会</p>
12月	<p>遠野物語ファンタジー旗揚げ式</p> <p>遠野市教育振興基本計画検討委員会</p>
1月	<p>市民新年交賀会</p> <p>遠野市中学生海外派遣交流事業結団式、出発式、到着式</p> <p>教育研究所研究発表会・創立10周年記念講演会、記念式典</p> <p>高校支援策検討チーム会議</p>

	成人式「はたちのつどい」 地域で子どもを育てる活動発表会 高校再編案に係る意見交換会 市内小中学校環境科学学習発表会 遠野市教育文化振興財団顕賞式
2月	今後の県立高校に関する地域検討会議 今後の県立高校に関する住民説明会 中学生海外派遣交流事業報告会 今後の県立高校に関する出前説明会 遠野市学校保健会研究大会 学力向上対策会議 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会 遠野市教育研究所運営委員会 遠野市学校保健会研究大会 いじめ防止対策委員会 遠野市総合食育センター運営審議会 移動図書館車贈呈式
3月	「高校再編を考える市民会議」設立準備会 「高校再編を考える市民会議」設立総会 高校再編を考える市民シンポジウム 高校再編に伴う岩手県要望 遠野市文化財保護審議会 遠野市スポーツ少年団本部会議 小・中学校卒業証書授与式 退職・市外転出教職員辞令交付式 教育委員会退職者等辞令交付式

【その他の行事】

月	行 事 名 等
4月	東北都市教育長協議会総会 市民センター体育館オープニングセレモニー 遠野市総合計画審議会 遠野市スポーツ少年団総会 希望郷いわて国体実行委員会常任委員会
5月	岩手県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換会 遠野市総合計画審議会 遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」 八戸市大館地区の新田城まつりの運営委員会との交流会 春の全国交通安全運動及び地域安全運動出発式 岩手県教育研究所連盟理事会、定期総会及び研究協議会

	<p>スポーツ少年団本部長旗争奪野球大会 全国都市教育長協議会定期総会 岩手県市町村教育委員会協議会定期総会 遠野市交通安全対協議会定期総会 遠野市区長連絡協議会定期総会・遠野市公衆衛生組合連合会定期総会 「いっぽいっぽの会」総会</p>
6月	<p>遠野地区更生保護女性の会結成50周年記念大会 県民体育大会遠野市選手団結団式</p>
7月	<p>岩手県ウォーキング大会「遠野大会」 国立歴史民俗博物館企画展オープニングセレモニー 社会を明るくする運動遠野地区大会 遠野市さわやかスポーツ大会 遠野市進化まちづくり検証委員会 チャレンジ防災スクールTONO2015</p>
8月	<p>「遠野グローバルプラザ」オープニング記念式典 遠野市防災会議 遠野納涼花火まつり 遠野ユネスコ協会創立45周年祈念式典 遠野文化フォーラム 遠野市少年消防クラブ防火野球大会 遠野スタイル創造・発展有識者会議 戦後70年 遠野市戦没者追悼・平和祈念式 大府市市制施行45周年記念式典</p>
9月	<p>日本のふるさと遠野まつり 保育のつどい 岩手県マレットゴルフ・チャンピオン大会 遠野スタイル創造・発展有識者会議 佐々木喜善祭</p>
10月	<p>バイマーヤンジン氏講演会 福崎町・大府市長歓迎交流会 遠野市産業まつり スポーツ少年団親睦野球小友大会 民話のまち遠野ウォーキング大会 子育てと教育を考える首長の会in宮古 スポーツ少年団野球交流附馬牛大会 遠野カップ杯中学校バレーボール大会</p>
11月	<p>管内市町教育長会議 神明保育園創立50周年祈念お遊戯会、式典、祝賀会 富士大学開学50周年記念式典 「第14回絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展賞状授与式</p>

12月	東北横断自動車道釜石秋田線、同線遠野インターチェンジ開通式 遠野一輪車クラブ発表会 清養園保養センタースケート場安全祈願祭 第94回全国高等学校サッカー選手権大会出場激励会 赤羽根スキー場安全祈願式 遠野市老人クラブ連合会10周年記念式典
1月	遠野市消防出初式 管内市町教育長会議 遠野緑峰高校校内プロジェクト発表会
2月	遠野ユネスコ協会新年会及び高校ユネスコ研究大会報告会 清養園氷上まつり 岩手県市町村教育委員会協議会委員研修会 岩手県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換会 宮守町地域づくり推進大会 市民の舞台「遠野物語ファンタジー」 小友町裸参り
3月	遠野緑峰高校卒業式 遠野文化遺産フェスティバル

Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

遠野市教育委員会は、平成27年度において、

- ・第1次 遠野市総合計画 後期基本計画（計画期間：平成23年度～平成27年度）
- ・第1期 遠野市教育振興基本計画（計画期間：平成21年度～平成27年度）

に基づき、教育行政を推進しました。

第1次 遠野市総合計画 後期基本計画においては、教育委員会は、下図に示す2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。

【第1次遠野市総合計画 後期基本計画 体系図】

○ 基本理念 「遠野スタイルの創造」

○ 将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり 2 快適な居住環境の形成 3 道路交通基盤の充実 4 安心安全な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進（スポーツ） 2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
	3 子育て支援の推進	
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興 2 商工業の振興 3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実 2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実 2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 郷土文化の保存と活用 2 文化財の保存と継承 3 郷土の文化を生かした地域創造
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり 2 行財政基盤の強化 3 行政サービスの向上	

また、第1期 遠野市教育振興基本計画においては、4つの基本方針と、基本方針を推進するための施策の方向及び展開を明確化し、これらに沿って、各種の具体的事業を実施し、教育行政を推進しました。

【第1期 遠野市教育振興基本計画 体系図】

○ 基本理念

「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」

基本方針	施策の方向	施策の展開
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	①家庭、地域での教育の充実 ②幼稚園、保育所の環境の充実 ③発達への支援
	(2) 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の充実 ③学校給食の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実 ⑤高等学校、大学、各種学校への進学等の支援
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	①総合推進体制の整備 ②家庭、地域教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と支援
	(2) 芸術文化活動の推進	①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 郷土文化の保存と活用	①博物館活動の推進 ②図書館活動の推進
	(2) 文化財の保存と継承	①文化財調査・保護保存 ②郷土芸能活動の推進 ③遠野遺産認定の推進
4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり総合プログラムの推進	①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興

【主な事務事業の管理及び執行の状況の点検】

次ページの表により、遠野市教育委員会が平成27年度に実施した主な事務事業を、第1期 遠野市教育振興基本計画に定める「基本方針」「施策の方向」「施策の展開」ごとに区分し、その取組状況、成果及び課題を整理しました。

基本方針	該当する「基本方針」を記載しています。
施策の方向	該当する「施策の方法」を記載しています。
施策の展開	該当する「施策の展開」を記載しています。
施策の展開に係る全体総括	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の成果など、総括的事項を記載しています。
課題	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の課題を記載しています。

事業費名	「平成27年度遠野市一般会計歳入歳出決算書」に記載している事業費の名称を記載しています。	平成27年度 決算額	事務事業の決算額を記載しています。 (単位：円)	
担当課	事務事業を実施した担当課名を記載しています。		評価	※
取組状況	事務事業の概要、取組状況等を記載しています。			
成果	事務事業の実施による成果を記載しています。 (具体的な数値等による成果がある場合は、その内容についても記載しています。)			

【主な事務事業の管理・執行の状況の評価】

上記の表の「評価」欄（※）には、担当課が実施した事務事業の取組の成果について、「達成」「概ね達成」「未達成」の3つの区分による自己評価を行い、該当する区分を記載しています。

区分	自己評価の判断
達成	事務事業の目的が十分に達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が100パーセント以上となる場合
概ね達成	事務事業の目的が概ね達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント以上100パーセント未満となる場合
未達成	課題が生じた等の理由により、事務事業の目的が概ね達成された、とまではいえないと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント未満となる場合)

1 ふるさと教育の推進

(1) 就学前教育の充実 ①家庭、地域での充実

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	① 家庭、地域での充実
施策の展開に係る全体総括	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（遠野わらすっこプラン）に基づき地域の子育て環境の充実を図るため、関係機関と連携し各種施策を展開した。 特にも、遠野市のこれからの保育を共に考える講演会や「わらすっこのうた」の制作等を通して、地域で子育てを支援する機運の醸成を図った。
課題	社会全体で子育て支援に取り組む場合、企業の協力が必要不可欠であることから、企業を巻き込んだ施策の展開が必要である。

事業費名	わらすっこプラン推進事業費	平成27年度 決算額	3,684,691円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（遠野わらすっこプラン）に基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象として、以下の事業を展開した。 ①遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 ②遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 ③遠野市わらすっこ基金事業	評価	達成	
成果	<p>①遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 市内の保育士が遠野市のこれからの保育をともに考えるため、白梅学園大学の汐見稔幸学長と目黒区立保育園の元園長 井上さく子氏（遠野市出身）を招き、対話会を開催した。 ・日時 平成27年9月13日（日） ・場所 みやもりホール ・参加者 市内外の保育士 284名 また、シンガーソングライターの「たかはし べん」氏が、遠野市わらすっこ条例の理念に基づき、遠野市の子どもたちの育ちを歌った「わらすっこのうた」を制作し、市内の保育所等で歌われるよう寄贈いただいた。</p> <p>②遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 遠野わらすっこプラン関連事業における審議や、わらすっこプラン事業等の評価などを審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を年3回開催した。</p> <p>③遠野市わらすっこ基金事業 わらすっこ基金助成事業については、「ゆめまち会」「岩手県保育協議会遠野地区双葉会」「NPO法人オヴェンセ」「遠野市図書ボランティアネットワーク」「とおのスポーツアート実行委員会」の5団体に助成金を交付した。 また、わらすっこ基金に寄附金14件1,076,300円、運用利子29,374円、合計1,105,674円を積み立てた。</p>			

事業費名	子育て環境育成事業費	平成27年度 決算額	775,000円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	遠野わらすっこプランに基づき、認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料又は企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成し、児童の保護者又は企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、もって子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図った。	評価	達成	
成果	認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料や企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成したことにより、児童の保護者又は企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図ることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーホーム入所児童保育料助成 9人 ・企業内託児施設運営助成 1施設 			

(1) 就学前教育の充実 ②幼稚園、保育所の環境の充実

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	② 幼稚園、保育所の環境の充実
施策の展開に係る全体総括	宮守地区の市立3幼稚園及び保育所を平成28年4月1日から社会福祉法人遠野市保育協会に運営移管するため、市内保育施設の統一したサービス提供体制を整えた。
課題	ゼロ歳児の入所希望が増加傾向にあり、年度途中の入所については、保護者の希望に沿えないことがあり、今後、入所希望が集中する施設の増築等を検討する必要がある。

事業費名	子育て支援環境整備事業費	平成27年度 決算額	29,001,965円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	平成28年4月1日から社会福祉法人遠野市保育協会に運営を移管する市立3幼稚園及び保育所について、エアコンの設置等をはじめ、老朽化している保育室等全般の改修工事を施工し、保育環境の充実を図った。	評価	達成	
成果	<p>○保育所認可基準、建築基準法、消防法の規定に基づき保育運営に必要な最小限の改修工事の実施により、安定的な保育業務の実施環境が整った。</p> <p>○遠野市保育協会の園内施設状況と統一した形で、エアコンの設置等をはじめ、老朽化している保育室等全般の改修工事を併せて施工したことから、市内保育園で統一したサービスを提供することができるようになった。</p> <p>① 宮守幼稚園・保育所 排煙窓、非常灯、消火栓、給食室床張替、戸棚改修、物置改修、ステージ塗装、物置小屋解体、砂場ブロック工事、LANケーブル配線等</p> <p>② 達曽部幼稚園・保育所 排煙窓、非常灯、廊下クロス張替、ホール扉改修、乳児室採光窓、物置小屋解体、玄関タイル改修、雨漏り改修、LANケーブル配線等</p> <p>③ 鱒沢幼稚園・保育所 体育館通路解体、LANケーブル配線</p> <p>○市立幼稚園及び保育所の民営化に伴い、「遠野市立幼稚園・保育所の記録誌～みやもり・たっそべ・ますざわのかたち～」を作成し、市立幼稚園及び保育所の軌跡をたどるとともに、記録として後世に残すことができた。</p>			

事業費名	幼稚園助成事業費	平成27年度 決算額	1,443,900円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	<p>市内の幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園の運営経費の一部に補助金を交付した。</p> <p>また、私立幼稚園と市立幼稚園等に通う児童の保護者の経済的負担を均衡化するために、幼稚園保育料等を減免した園に対して補助金を交付した。</p>		評価	達成
成果	<p>市内の私立幼稚園1園に対し、5月1日現在の児童数(49名)に2,500円を乗じ400,000円を加えた額を上限として、備品の購入費、修繕工事及び園児の季節活動等の運営経費に対して補助金を交付し、幼児教育環境の充実を図った。</p> <p>また、所属する60名の幼稚園保育料等を減免した市内の私立幼稚園1園に対し、その減免分(入園料、保育料及び預かり保育料等を加えた金額から幼稚園就園奨励費補助金を差引き、多子割合を乗じた額)を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p>			

事業費名	私立幼稚園就園奨励事業費	平成27年度 決算額	7,225,900円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	<p>私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、幼稚園設置者が保育料等を減免した場合に、国からの補助を受けて就園を奨励した。</p>		評価	達成
成果	<p>私立幼稚園の園児60人のうち54人(うち1人は市外私立幼稚園)を対象に、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行い、保護者の経済的負担を軽減した。</p> <p>・補助金対象園児数…2園 54人</p>			

(1) 就学前教育の充実 ③発達への支援

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	③ 発達への支援
施策の展開に係る全体総括	3歳6か月児健診や関係機関が連携した就学前施設の訪問等で要フォローとなった児童を対象に療育支援教室を実施し、児童の心身の発達を促すことができた。
課題	対象児童が増加傾向にあることから、療育支援教室の実施回数等運営方法を検討し、より多くの児童の発達を支援していく必要がある。

事業費名	わらすっこの育ち療育支援事業費	平成27年度 決算額	5,040,153円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	<p>何らかの障がい及び発達の遅れ等がある就学前児童に対し、個別活動小集団活動（ホースセラピー、キッズ体操等）を取り入れた養育支援教室を実施することで、児童の心身の発達を促した。</p> <p>就学している障がい児が、放課後又は休校日に自宅に監護する者がいない等の理由により、市内の社会福祉事業所に通所する事業（日中一時支援事業）を利用した際の利用料の自己負担額を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、療育の支援を図った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○療育支援教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）は、教育委員会や健康福祉の里保健医療課、市内各幼稚園・保育園と連携し、個別活動等を通して支援が必要と思われる児童の心身の発達を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびっこ教室…心身に発達の遅れが認められる就学前の児童対象 登録人数 16人 ・ジャンプ教室…発達の遅れが生ずるおそれがある就学前の児童対象 登録人数 12人 <p>○日中一時支援事業の利用料の自己負担額の全額を助成したことにより、保護者の経済的負担の軽減を図り、児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図った。（対象者 6人、助成金額 163,700円）</p>			

(2) 学校教育の充実 ①教育内容の充実

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	① 教育内容の充実
施策の展開に係る全体総括	平成27年度に実施した事業については、ほとんどの事業で目標を達成することができた。特に、教育研究所の創立10周年記念事業として、これまでの取組を総括し、多くの関係者で情報共有できたことは有意であった。
課題	学力向上については、小中学校が連携した取組の成果が見え始めているものの、目標とする結果までには至っていないため、現在の取組を継続するとともに、新たな視点での取組が必要である。

事業費名	文化行事奨励費	平成27年度 決算額	247,956円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>児童・生徒作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 平成27年12月25日から平成28年1月21日まで ・場所 とびあ庁舎通路前 ・内容 市内小中学校14校が絵画や書道を展示 <p>文集「遠野」43の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校から応募のあった、小学生77人及び中学生23人の作品を掲載した文集を発行した。 	評価	達成	
成果	<p>○作品展を開催することで、学校で行われている表現する力や想像力を養う文化創造活動を多くの人々が知る機会を設けることができた。</p> <p>○作文を書くことや読むことを通じて、感動を文章に表現することや豊かな人間性を育むことができた。</p>			

事業費名	外国人講師招へい事業費	平成27年度 決算額	4,272,480円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手1人の派遣を受けた。	評価	達成	
成果	<p>児童生徒が外国語指導助手の生きた英語に触れることで、コミュニケーション能力の素地を養い、「聞くこと」「話すこと」及び英語力の向上を図り、英語を用いて豊かな自己表現をしようとする力が育まれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣学校数 14校 ・派遣回数 184回（小学校84回、中学校100回） 			

事業費名	就学指導委員会費	平成27年度 決算額	37,242円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	遠野市就学指導委員会条例に基づき、就学指導委員会を開催した。 (定例3回、臨時2回)		評価	達成
成果	児童生徒の就学に関わる調査・審議を行うことができた。			

事業費名	平成・南部藩寺子屋交流事業費	平成27年度 決算額	770,300円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市とそれぞれの市を相互訪問し、交流活動を行った。 日常生活と異なる集団活動の中で、郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより郷土を愛し将来を担う人材の育成を図った。		評価	達成
成果	<p>○市内小学校11校を代表する児童が一同に集まり、八戸市児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。</p> <p>○大きな集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしての在り方を学ぶことができた。</p> <p>○他者の視点からふるさとの良さを聞くことで、自らをふりかえることができ、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加児童 26人 ・受入交流 平成27年7月27日～29日 八戸市児童45人が来遠 ・派遣交流 平成27年8月3日・4日 遠野市児童26人が八戸市を訪問 			

事業費名	特別支援教育推進事業費	平成27年度 決算額	16,184,441円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を15人配置した。 要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を1人配置した。		評価	達成
成果	<p>○特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置状況…小学校11校、中学校2校（小学校のうち2校は2人配置） <p>○学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができ、児童4人がことばの教室を退級することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導の状況…5校、対象児童11人 			

事業費名	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	平成27年度 決算額	1,254,410円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	心身の健全な発達に向けて公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、そのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行った。	評価	達成	
成果	<p>○各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環として、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう位置付けて取り組んだ。</p> <p>○夢先生の話に素直に感動し、夢について語り合い、真剣に考える児童たちの姿がみられた。</p> <p>・実施状況 8校、7回 附馬牛小学校、達曽部小学校、小友小学校及び鱒沢小学校（合同開催） 土淵小学校、綾織小学校（5・6年生） 青笹小学校、上郷小学校（5年生）</p>			

事業費名	いじめ防止等総合対策事業費	平成27年度 決算額	85,860円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	遠野市いじめ防止等基本方針に基づき、遠野市生徒指導推進協議会の専門委員会として設置される「遠野市いじめ防止等対策委員会」を開催し、いじめ防止対策について協議した。 小中学生向けのいじめ防止リーフレットを作成し、いじめのない学校づくりを推進した。	評価	達成	
成果	<p>○平成28年2月に第1回の「遠野市いじめ防止等対策委員会」を開催し、組織体制の確認と、今後のいじめ防止対策に関する協議を行った。</p> <p>○遠野西中学校が「全国いじめ問題子どもサミット」で発表した取組について情報共有を行い、取組を市内他校に広げていく方針を確認した。</p> <p>○児童生徒及び保護者対象のいじめ防止啓発リーフレット（小学生用・中学生用）を計2,000部作成した。</p>			

事業費名	教育研究所費	平成27年度 決算額	8,350円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	教育研究所の運営方針や各種事業の取組について協議を行うため、運営委員会を3回開催した。	評価	達成	
成果	第1回会議では平成27年度の運営方針を、第2回会議では事業の取組・進捗状況についての確認を、第3回の会議では次年度の事業計画について協議を行い、効果的かつ円滑な事業の実施に向けた意見をいただいた。			

事業費名	学力向上対策事業費	平成27年度 決算額	11,266,432円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、遠野市教育研究所内及び市内3中学校に、教育相談員を計4名配置した。</p> <p>市内小中学生（小2～中3）を対象に、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施し、その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校に還元した。</p> <p>教育課程に関する実践研究を行い、その成果を学校公開の場において発表し、市内小中学校に還元した。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」に取り組んだ。</p> <p>○市内3校において開催した学校公開研究会のほか、平成28年1月には研究成果を中学校区ごとに発表し合い、研究授業の成果を皆で共有したことにより、教員の意識改革が図られ、徐々に授業の質向上につながっている。</p> <p>○遠野市教育研究所創立10周年記念事業として、講演会の開催及び記念誌の発行を行い、10年の取組について広く情報発信を行った。</p> <p>○教育相談員が教育相談を通して生徒や保護者の不安や悩みの解消に努めたほか、適応指導教室を設置し、様々な要因により登校が困難な生徒に対して、学校への復帰に向けた支援を行った。</p> <p>○小学校標準学力検査偏差値 目標値 53.5 実績 52.7 達成率 98.5%（概ね達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生では理科以外、2年生～5年生では全ての科目で全国平均を上回った。 ・各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、中学校区ごとに取り組んでいる学力向上の取組に繋げている。 ・後期5箇年（平成23年度～平成27年度）を通じた取組の結果、総じて全国平均を上回る結果となり、取組の成果が認められていることから、継続した学力向上の取組を進めることで、次期計画では目標を上回ることができるように取り組む。 <p>○中学校標準学力検査偏差値 目標値 50.8 実績 48.5 達成率 95.5%（概ね達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれて全国平均を下回る状況が多くなっており、3年生では全ての教科が全国平均を下回った。 ・教科ごとに結果を見ると、数学の落ち込みが特に大きく、1年生では全国平均を上回っているものが、2年生では全国平均を大きく下回る結果となり、1年生での数学習熟が課題となっている。 ・各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、中学校区ごとに取り組んでいる学力向上の取組に繋げている。 ・全国平均を上回ることができるよう、特定の教科に取組を焦点化させていくことが必要である。 ・平成28年度から新たに市内中学校に配置した「特定教科学習支援員」の活用により、家庭学習の工夫をしながら、授業での習熟・理解を高めることで、学力向上を図っていく。 			

- 学習定着度状況調査（小学校）（県平均を上回る点差）
 目標値 70.8点（県平均+2.0点） 実績 69.0点（県平均+0.2点）
 達成率 97.5%（概ね達成）
- ・平成27年度は、小学校5年生で国語、社会、算数、理科の4教科で実施された。目標には届かなかったが、県平均を上回った。教科ごとの結果をみると、算数と理科では県平均を上回り、国語と社会はわずかに県平均を下回った。
 - ・各学校においては、この結果をもとにした補充指導を実施しており、授業での習熟・理解が不十分な点についてフォローアップを行っている。また、結果を分析し、次年度の授業改善等の学力向上の取組に生かしている。
 - ・後期5箇年を通じた取組の結果、総じて県平均を上回る結果となっており、継続した学力向上の取組を進めていきたい。
- 学習定着度状況調査（中学校）（県平均を上回る点差）
 目標値 54.7点（県平均+1.0点） 実績 49.5点（県平均-4.2点）
 達成率 90.5%（概ね達成）
- ・平成27年度は、中学2年生で国語、社会、数学、理科、英語の5教科で実施された。教科ごとの結果をみると、社会では県平均を上回ったものの、その他の教科は県平均を下回った。特にも、数学と英語で大きく平均を下回った。
 - ・各学校においては、この結果をもとにした補充指導を実施しており、授業での習熟・理解が不十分な点についてフォローアップを行っている。また、結果を分析し、授業改善や家庭学習の充実に生かしている。
 - ・県平均を上回ることができるよう、特定の教科に取組を焦点化させていくことが必要である。
 - ・平成28年度から新たに市内中学校に配置した「特定教科学習支援員」の活用により、定着が不十分な事項の復習を進めながら、授業での習熟・理解を高めることで、学力向上を図っていく。

事業費名	体育・文化行事奨励費（小学校）	平成27年度 決算額	858,000円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	遠野市立学校体育・文化事業補助金交付要綱に基づき、水泳記録会、陸上記録会、音楽祭を実施する団体に補助金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市小学校体育協会 693,000円 ・遠野市小学校音楽教育協議会 165,000円 	評価	達成	
成果	体育活動及び文化活動の振興を通して、児童の健全な育成を図ることができた。			

事業費名	体育・文化行事奨励費（中学校）	平成27年度 決算額	2,350,000円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	遠野市立学校体育・文化事業補助金交付要綱に基づき、総合体育大会の実施や大会への派遣、地区総合文化祭を行う団体に補助金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市中学校体育連盟 2,170,000円 ・遠野地区中学校文化連盟 180,000円 	評価	達成	
成果	体育活動・文化活動の振興を通して、生徒の健全な育成を図ることができた。			

(2) 学校教育の充実 ②教育環境の充実

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	② 教育環境の充実
施策の展開に係る全体総括	義務教育の円滑な実施に資するため、就学援助制度の実施及び特別支援教育への支援を図った。 また、学校施設等を長期間にわたり快適に使用することができるよう適切な整備、維持管理等の実施に努めるとともに、児童生徒が質の高い充実した教育環境で学ぶことができるよう、教材備品の充実を図った。
課題	スクールバスの運行については、児童生徒の安全の確保を第一に、学校及び運行業務の受託事業者との三者連携をさらに強化していく必要がある。 建築後相当の年数が経過している学校施設等については、児童生徒の安全確保のため、緊急性を考慮しながら、適宜改修、修繕等を実施していく必要がある。 就学援助制度については、保護者の経済的負担の軽減に資するよう、制度の一層の周知に努める。

事業費名	通学対策費（小学校）	平成27年度 決算額	22,360,933円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>遠野北小学校、小友小学校、附馬牛小学校、土淵小学校、宮守小学校、達曽部小学校及び鱒沢小学校に遠距離から通学する児童を対象にスクールバス及びスクールワゴンを運行するとともに、遠距離から通学する青笹小学校瀬内地区の一部及び上郷小学校来内地区の児童を対象にタクシーを運行した。</p> <p>遠距離（4km以上）から小学校に通学する児童を対象に、通学費の助成を行った。</p> <p>教育課程における児童の移動手段として、スクールバスの特別運行を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の通学に係る負担の軽減及び通学時の安全を図ることができた。 ・バス5台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託</p> <p>○遠距離通学児童のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない児童に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 ・支給児童数 22人</p> <p>○学校運営上必要な行事や市が主催する各種事業等においては、スクールバスの特別運行により児童の送迎を行い、スクールバスの有効活用を図った。 ・特別運行許可件数 217件</p>			

事業費名	教材整備費（小学校）	平成27年度 決算額	14,016,795円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、並びにパーソナルコンピュータの借上げ等を行った。</p> <p>国の補助事業を活用し、理科教育における観察や実験に必要な教材備品を整備した。</p>		評価	達成
成果	<p>○教育活動に必要な教材備品の購入、言語活動や読書活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げ等、教育環境の整備充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入数 70品目 ・図書購入数 1,507冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 375台 <p>○小学校4校の理科教材備品を整備し、観察や実験を通じた理科教育の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な整備内容 附馬牛小学校：生物顕微鏡、磁化用コイル 等 土淵小学校：実験用冷蔵庫、百葉箱 等 青笹小学校：書画カメラ、百葉箱 等 上郷小学校：書画カメラ、生物顕微鏡 等 			

事業費名	就学援助費（小学校）	平成27年度 決算額	9,876,209円																									
担当課	教育委員会事務局教務課																											
取組状況	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、クラブ活動費、児童会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p>		評価	達成																								
成果	<p>○就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象児童数 149人 <p>○下記のうち被災児童12人分の就学援助費（822,666円）については、県補助金の対象として、県から市に交付された。</p> <p>○支給項目及び支給内訳</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>学用品費（146人）</td> <td>1,580,716円</td> <td>通学用品費（133人）</td> <td>275,962円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（146人）</td> <td>280,900円</td> <td>新入学用品費（13人）</td> <td>266,110円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（37人）</td> <td>890,220円</td> <td>通学費（1人）</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（3人）</td> <td>2,310円</td> <td>児童会費（1人）</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>PTA会費（99人）</td> <td>317,960円</td> <td>学校病医療費（39人）</td> <td>324,070円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（19人）</td> <td>10,480円</td> <td>学校給食費（146人）</td> <td>5,919,381円</td> </tr> </table>				学用品費（146人）	1,580,716円	通学用品費（133人）	275,962円	校外活動費（146人）	280,900円	新入学用品費（13人）	266,110円	修学旅行費（37人）	890,220円	通学費（1人）	8,000円	クラブ活動費（3人）	2,310円	児童会費（1人）	100円	PTA会費（99人）	317,960円	学校病医療費（39人）	324,070円	学校病医療通院費（19人）	10,480円	学校給食費（146人）	5,919,381円
学用品費（146人）	1,580,716円	通学用品費（133人）	275,962円																									
校外活動費（146人）	280,900円	新入学用品費（13人）	266,110円																									
修学旅行費（37人）	890,220円	通学費（1人）	8,000円																									
クラブ活動費（3人）	2,310円	児童会費（1人）	100円																									
PTA会費（99人）	317,960円	学校病医療費（39人）	324,070円																									
学校病医療通院費（19人）	10,480円	学校給食費（146人）	5,919,381円																									

事業費名	特別支援教育関係費（小学校）	平成27年度 決算額	1,107,322円																				
担当課	教育委員会事務局教務課																						
取組状況	特別支援教育の円滑な実施を図るため、特別支援学級の活動に対する支援を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、児童の就学のための学校給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図った。	評価	達成																				
成果	<p>○特別支援学級を開設する小学校に対し、消耗品費及び印刷製本費を計 648,560円配当し特別支援教育に関する活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校 11校、19学級 ・対象児童 29人 <p>○特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">学校給食費</td> <td style="width: 10%;">16人</td> <td style="width: 20%;">330,120円</td> <td style="width: 10%;">学用品費</td> <td style="width: 10%;">16人</td> <td style="width: 20%;">84,113円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>3人</td> <td>29,670円</td> <td>校外活動費</td> <td>4人</td> <td>4,419円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>1人</td> <td>10,440円</td> <td>計</td> <td></td> <td>458,762円</td> </tr> </table>	学校給食費	16人	330,120円	学用品費	16人	84,113円	新入学用品費	3人	29,670円	校外活動費	4人	4,419円	修学旅行費	1人	10,440円	計		458,762円				
学校給食費	16人	330,120円	学用品費	16人	84,113円																		
新入学用品費	3人	29,670円	校外活動費	4人	4,419円																		
修学旅行費	1人	10,440円	計		458,762円																		

事業費名	学力向上学校教材等充実事業費（繰越明許費）	平成27年度 決算額	5,882,908円														
担当課	教育委員会事務局教務課																
取組状況	平成27年度における小学校教科書の改訂に伴い、小学校教師用教科書（下巻）及び指導書（下巻）を購入し、学校教材の充実を図った。上巻については、新学期から使用することができるよう平成26年度に購入し小学校に整備したが、下巻については平成27年度の夏期に発行されたことから、平成27年度に予算を繰り越して購入した。	評価	達成														
成果	<p>平成27年度における小学校教科書の改訂に合わせ、教師用教科書、指導書及び指導資料を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">教師用教科書</td> <td style="width: 10%;">445冊</td> <td style="width: 20%;">156,465円</td> <td style="width: 10%;">教師用指導書</td> <td style="width: 10%;">432冊</td> <td style="width: 20%;">4,204,565円</td> </tr> <tr> <td>指導資料</td> <td>159点</td> <td>1,521,878円</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	教師用教科書	445冊	156,465円	教師用指導書	432冊	4,204,565円	指導資料	159点	1,521,878円							
教師用教科書	445冊	156,465円	教師用指導書	432冊	4,204,565円												
指導資料	159点	1,521,878円															

事業費名	附馬牛小学校整備事業費	平成27年度 決算額	3,301,560円		
担当課	教育委員会事務局教務課				
取組状況	平成26年度に旧附馬牛中学校校舎を附馬牛小学校校舎に転用するための整備を実施したことに伴い、教育環境のさらなる充実を図るため、校庭に遊具を整備した。	評価	達成		
成果	<p>○遊具6基（ジャングルジム、大型肋木、四連式ブランコ、すべり台、山型雲梯、低鉄棒）を整備した。</p> <p>○遊具で体を動かすことにより、児童の健康な体づくりや運動能力の向上を図ることができた。また、子ども同士のコミュニケーションツールとしても期待される。</p>				

事業費名	通学対策費（中学校）	平成27年度 決算額	47,645,273円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>遠野中学校、遠野東中学校及び遠野西中学校に遠距離から通学する生徒を対象に、スクールバス及びスクールワゴンを運行した。</p> <p>遠距離（6km以上）から徒歩で中学校に通学する生徒を対象に、通学費の助成を行った。</p> <p>教育課程における生徒の移動手段として、スクールバスの特別運行を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の通学に係る負担の軽減及び通学時の安全を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行台数 18台（中学校3校 各6台） <p>○遠距離通学生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給生徒数 5人 <p>○学校運営上必要な各種行事やクラブ活動等においては、スクールバスの特別運行により生徒の送迎を行い、スクールバスの有効活用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別運行許可件数 237件 			

事業費名	教材整備費（中学校）	平成27年度 決算額	9,277,862円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、並びにパーソナルコンピュータの借上げ等を行った。</p> <p>国の補助事業を活用し、理科教育における観察や実験に必要な教材備品を整備した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○教育活動に必要な教材備品の購入、言語活動や読書活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータ等の借上げ等、教育環境の整備充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入数 27品目 ・図書購入数 673冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 164台 <p>○中学校3校の理科教材備品を整備し、観察や実験を通じた理科教育の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な整備内容 <ul style="list-style-type: none"> 遠野中学校：検流計、薬品庫 等 遠野東中学校：教材提示装置、水平斜面実験台 等 遠野西中学校：書画カメラ、デジタル気体チェッカー 等 			

事業費名	就学援助費（中学校）	平成27年度 決算額	12,061,429円																					
担当課	教育委員会事務局教務課																							
取組状況	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p>		評価	達成																				
成果	<p>○就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象生徒数 95人 <p>○下記のうち被災生徒4人分の就学援助費（544,178円）については、県補助金の対象として、県から市に交付された。</p> <p>○支給項目及び支給内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（92人）</td> <td>2,001,360円</td> <td>通学用品費（59人）</td> <td>126,366円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（92人）</td> <td>310,717円</td> <td>新入学用品費（33人）</td> <td>777,150円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（27人）</td> <td>1,931,878円</td> <td>クラブ活動費（90人）</td> <td>2,020,640円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費（91人）</td> <td>197,000円</td> <td>PTA会費（79人）</td> <td>184,270円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費（9人）</td> <td>63,180円</td> <td>学校給食費（91人）</td> <td>4,448,868円</td> </tr> </table>				学用品費（92人）	2,001,360円	通学用品費（59人）	126,366円	校外活動費（92人）	310,717円	新入学用品費（33人）	777,150円	修学旅行費（27人）	1,931,878円	クラブ活動費（90人）	2,020,640円	生徒会費（91人）	197,000円	PTA会費（79人）	184,270円	学校病医療費（9人）	63,180円	学校給食費（91人）	4,448,868円
学用品費（92人）	2,001,360円	通学用品費（59人）	126,366円																					
校外活動費（92人）	310,717円	新入学用品費（33人）	777,150円																					
修学旅行費（27人）	1,931,878円	クラブ活動費（90人）	2,020,640円																					
生徒会費（91人）	197,000円	PTA会費（79人）	184,270円																					
学校病医療費（9人）	63,180円	学校給食費（91人）	4,448,868円																					

事業費名	特別支援教育関係費（中学校）	平成27年度 決算額	166,256円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>特別支援教育に関する活動を支援するため、特別支援学級を開設する中学校に消耗品費及び印刷製本費を配当した。</p>		評価	達成
成果	<p>特別支援学級を開設する中学校に対し、消耗品費及び印刷製本費を計 166,256円配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校 3校、4学級 ・対象生徒 5人 			

事業費名	プール改修事業費	平成27年度 決算額	37,414,000円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>遠野西中学校のプール設備の改築工事を実施し、生徒が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備した。</p>		評価	達成
成果	<p>○平成27年11月の国庫補助金の追加決定を受けたのち、工事及び監理業務の入札発注を行ったため、年度内の工事完了が困難であったことから、事業費43,736,000円を平成28年度に繰り越した。</p> <p>○平成27年度内に既存プールの解体が完了したことから、平成28年4月から建築工事を実施し、同年8月に完成した。</p>			

事業費名	遠野中学校屋内運動場改築整備事業費	平成27年度 決算額	133,017,120円		
担当課	教育委員会事務局教務課				
取組状況	遠野中学校の屋内運動場は、平成3年の建築後24年が経過していることから、平成26年度に実施した改修設計業務の内容に沿った施設の大規模改造工事を実施した。	評価	達成		
成果	<p>○大規模改造工事により、懸案事項であった天井の雨漏りが解消された。</p> <p>○節電対策として照明設備をLED化したほか、トイレ等の衛生器具や火災報知設備の更新により、施設の長寿命化が図られた。</p> <p>○工事完了後は、社会教育団体等に対する一般開放事業を再開し、多数の団体が利用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成27年8月から平成28年3月まで ・建築工事（延べ床面積 1944,63㎡） <ul style="list-style-type: none"> 外壁：RC部塗装替、サイディング張替、鉄部塗装替 等 屋根：カバー工法縦平葺き、既存横葺き部塗装替 等 その他：内部床・壁・天井仕上げ改修、設備機器更新 等 ・機械設備工事 <ul style="list-style-type: none"> 照明器具及び情報表示設備並びに火災報知設備交換 ・工事監理業務委託 				

事業費名	遠野西中学校整備事業費	平成27年度 決算額	3,459,240円		
担当課	教育委員会事務局教務課				
取組状況	遠野西中学校の教育環境の充実を図るため、平成24年度の給食受入室新築整備、平成26年度の旧宮守給食センターを活用した多目的ホール改修に続き、両施設周辺の外構工事を実施した。	評価	達成		
成果	多目的ホール及び給食受入室周辺のアスファルト舗装（374㎡）を行ったことにより、給食搬入車の出入りがスムーズになったほか、多目的ホールからの物品等の搬入・搬出が容易に行えるようになった。				

(2) 学校教育の充実 ③学校給食の充実

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	③ 学校給食の充実
施策の展開に係る全体総括	<p>成長期にある児童生徒に対し、栄養バランスのとれた食事を提供し健康増進を図るとともに、望ましい食習慣を身に付けさせ、豊かな人間形成等を達成するため、衛生管理を徹底し、安全・安心でおいしい学校給食の提供に努めた。</p> <p>また、遠野市食育推進計画に基づき、給食の食材には遠野産の食材を積極的に利用し、地産地消を推進するとともに、生産者等との共食を通しながら地域の食文化への理解を深めたり、栄養教諭が学校を訪問して食に関する指導を行ったりするなど、食育の推進にも努めた。</p>
課題	<p>高品質な食材の安定的な確保及び冬期間における地場産の食材の確保が難しい。なお、平成28年度から、ふるさと食材給食事業は学校給食事業に包括されており、食材の地産地消率の維持が課題となっている。</p>

事業費名	学校給食事業費	平成27年度 決算額	207,185,919円	
担当課	学校給食センター			
取組状況	<p>市内小中学校の児童生徒に、学校給食を通し栄養バランスのとれた食事を提供し健康増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を育成することを目標として学校給食を実施した。</p> <p>学校給食の実施に当たっては、遠野産の食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、衛生管理を徹底し、安全安心でおいしい給食の提供に努めた。</p>	評価	達成	
成果	<p>○遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を安全かつ確実に提供することができた。</p> <p>○高度な衛生管理体制が構築されたことにより、多彩なメニューやアレルギー対応食等の提供が可能になった。</p> <p>○学校給食の試食の機会をPTAや学校関係者だけでなく、一般の方にも提供し、試食後のアンケートをその後の学校給食献立に反映させることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食実施校数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 12校（うち1校は特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は特別支援学校） ・給食供給人数 2,296人 ・年間給食実施回数 168回（米飯 129回 パン 39回） ・年間供給食数 380,391食 ・学校給食食材に占める地場産物使用割合 <ul style="list-style-type: none"> 目標値 65.0% 実績 72.7% 達成率 111.8% 			

事業費名	ふるさと食材給食事業費	平成27年度 決算額	1,798,404円	
担当課	学校給食センター			
取組状況	<p>学校給食に遠野産の農畜産物を積極的に使用し、安全安心な給食の提供と学校給食の地産地消率の向上を図るとともに、郷土食や地域に関わる給食メニューを提供し、郷土の食文化や農畜産業への理解を深める食育活動として「遠野まるごと給食」を年3回実施した。</p>	評価	達成	
成果	<p>季節感のある地域の食材を利用した「遠野まるごと給食」の実施により、地産地消の推進につながった。</p> <p>また、郷土食や食育推進団体の作成した献立を提供するとともに、食材生産農家や給食メニューの提案者を給食に招待し、農業や郷土食についての学習を通じ、児童・生徒が郷土食や農畜産業への理解を深めることができた。</p>			

(2) 学校教育の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	④ 学校と家庭、地域との連携の充実
施策の展開に係る全体総括	岩手県で取り組んでいる「みんなで教振！5か年プラン」での取組を、協議会や家庭教育ゼミナール等を通じて地域や家庭に周知することができた。
課題	地域教育協議会は、近年地域づくり連絡協議会や地区センター行事と類似性が多く、実際他団体との共催が多くなっている。 地域づくりの関連交付金等の交付を受けていることから、平成28年から補助金制度を廃止し、協議会員を対象とした講演会を実施し、地域に還元することができる方向に転換する。

事業費名	地域教育文化振興事業費	平成27年度 決算額	629,832円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	学校・PTA・地域が連携し、地域で家庭教育等を推進するための組織「地域教育協議会」の事業を支援するため、補助金を支出した。 家庭教育を推進するための講演会への支援を行った。	評価	達成	
成果	○各地区地域教育協議会11団体に補助金を支出し、伝統文化継承や世代間交流、読書活動など地域の特性を活かした地域教育活動を支援した。 ○「家庭教育ゼミナール」を市内14会場で実施した。(参加者 計1,545人) 情報モラルやメディアの利用方法、子どもの健康・体力づくり、命に関する講演など、多岐にわたる講演会等を実施し、保護者等の家庭教育力向上に努めた。 ○地域で取り組まれている実践活動について、市内2地域と教育委員会から事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時に開催した。地域での取組の事例発表や講演会を実施し、子育てへの理解や学校・地域活動の活性化を図ることができた。(参加人数 200人)			

事業費名	特色ある学校づくり事業費	平成27年度 決算額	1,272,801円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校において、それぞれ企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組んだ。	評価	達成	
成果	すべての学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開した。 平成27年度は、郷土芸能の伝承活動や食育に取り組む学校が多かった。 講師を務める地域住民を通して、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで児童生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれるとともに、地域に開かれた学校づくりの一助となっている。			

(2) 学校教育の充実 ⑤高等学校、大学、各種学校への進学等の支援

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	⑤ 高等学校、大学、各種学校への進学等の支援
施策の展開に係る全体総括	<p>向上心に燃える優秀な学生であって、経済的な事由により就学が困難である学生に対して奨学資金を貸与し、人材の育成に努めた。</p> <p>貸付金の償還は、奨学生自身が立てた償還計画（15年以内）に基づき行われるが、滞納者からの未償還額の回収に時間を要している。</p> <p>滞納者に対しては、現在貸与している奨学金が、これまで貸与を受けてきた奨学生からの償還金によって成り立っていることを説明するとともに、定期的な連絡や訪問による催告を行い、納付を促しているほか、償還計画の見直し等にも対応している。</p>
課題	<p>滞納額は微減している状況であるが、長期滞納者については、定期的に本人及び保証人への連絡、催告等を行い、未償還額の回収に一層努めていく。</p>

事業費名	育英事業費	平成27年度 決算額	44,186,168円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行った。</p> <p>なお、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○新規奨学生の募集を行い、新たに35人（大学生等30人、高校生5人）の奨学生を決定し、継続奨学生60人と合わせて95人に奨学金を貸与した。（平成28年3月に貸与期間を満了した者は31人）</p> <p>○経済的回復等の自己都合により、年度当初に5人の奨学生から貸与辞退の申出があった。</p> <p>・新規奨学生 採用数 35人（大学生等30人、高校生5人） 貸付額 15,300,000円</p> <p>・継続奨学生 人数 60人（大学生等） 貸付額 28,800,000円</p>			

事業費名	都市交流推進事業費	平成27年度 決算額	378,205円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	東京都武蔵野市との児童交流を行い、地域の特性を生かした体験を通じて、ひとづくりとまちづくりを推進した。		評価	達成
成果	<p>東京都武蔵野市からの児童の受入れ事業を実施した。</p> <p>事業を通じて、地域性の違いや相互の生活様式を理解し、交流を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成27年10月10日～12日（2泊3日） ・参加者 児童20人、引率3人 			

事業費名	高齢者スポーツ大会費	平成27年度 決算額	553,087円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	市老人クラブ連合会が開催するスポーツ大会への支援を行った。		評価	達成
成果	<p>各種スポーツ大会を通じ、高齢者同士の交流、健康づくりを支援した。</p> <p>5月：ゲートボール・ペタンク大会</p> <p>7月：さわやかスポーツ大会</p> <p>8月：岩手県民長寿体育祭ペタンク交流大会、グラウンドゴルフ大会</p> <p>9月：岩手県民体育祭いきいきシルバースポーツ大会、健康ウォーキング</p> <p>3月：シルバー室内競技大会</p>			

事業費名	老人クラブ育成指導費	平成27年度 決算額	2,422,600円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	市老人クラブ連合会に補助金を交付し、活動への支援を行った。		評価	達成
成果	<p>知識や社会経験を活かした地域活動や、スポーツ大会、リーダー研修などを通じた交流により、高齢者の生活を豊かにする活動や地域貢献活動を支援した。</p> <p>岩手県老連で取り組む2万人会員増強運動推進計画に取り組み、会員数の増強を図った。</p>			

(1) 社会教育の充実 ⑤ 青少年の健全育成と指導者の養成

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(1) 社会教育の充実
施策の展開	⑤ 青少年の健全育成と指導者の養成
施策の展開に係る全体総括	様々な活動を通じ学校活動以外の子どもたちの健全育成に寄与した。 また、まちづくりの人材育成として青年団体への支援を行った。
課題	地域や家庭、学校の協力により当該施策が遂行できるものであることから、一つでも欠けることがないように、施策の周知を図る。

事業費名	青少年健全育成活動事業費	平成27年度 決算額	3,036,205円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	遠野市少年センターに関する規則に基づく街頭補導等の活動事業を実施した。		評価	達成
成果	下校後から夕方にかけて遊んでいる児童生徒を対象に、少年委員による街頭補導を定期に実施し、青少年の健全育成に寄与した。 補導は0件であるが、駅前や店舗前での自転車の無施錠が多く、お知らせカードによる注意喚起により防犯意識を浸透させた。			

事業費名	青少年活動サポート事業費	平成27年度 決算額	1,341,140円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	青年団体及び青少年を対象とした行事への支援を行った。		評価	達成
成果	青年団体へ補助金を交付し、活動への支援を行った。 また、平成28年7月24日に、宮守町を会場として関係団体とともに「わらすっこまつり」を開催し、親子のレクリエーションの場を提供した。			

事業費名	放課後子どもプラン推進事業費	平成27年度 決算額	2,868,486円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	児童を対象に、放課後や夏休み期間中の学習機会の提供と家庭学習の習慣化を図るため、放課後子ども教室を実施した。		評価	達成
成果	市内全小学校区で学習アドバイザーと安全管理員を配置し、学校の一室や児童館等を活用して放課後の時間（夏休みは午前中）に実施し、家庭学習の習慣化を図った。			

(2) 芸術文化活動の推進

①芸術文化団体の育成と支援

②創作芸術文化活動の振興

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(2) 芸術文化活動の推進
施策の展開	① 芸術文化団体の育成と支援 ② 創作芸術文化活動の振興
施策の展開に係る全体総括	市民への芸術鑑賞を目的とした自主事業と、市民の芸術活動支援として芸術文化協会及び市民舞台制作団体への補助を行った。 なお、市民センターの改修工事に伴い、大ホール開催事業が減少したことから、まちづくり指標で定めた目標値を下回ったため、評価上は未達成となった。
課題	芸術団体の活動を市民芸術祭に留まらず、市民センターリニューアル式典などにも参加を促し、市民への周知を図りたい。

事業費名	芸術文化振興事業費	平成27年度 決算額	2,207,000円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	市民センター自主事業を開催するとともに、芸術文化団体への支援及び市民協働による活動発表の場の提供を行い、芸術文化の振興を図った。	評価	未達成	
成果	<p>○遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業数 目標値 14事業 実績 14事業 達成率 100% ・総参加者数 目標値 1,980人 実績1,371人 達成率 69.2% ・鑑賞者数 目標値 9,000人 実績5,331人 達成率 59.2% <p>○市民センター自主事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジェンドコンサート等3事業開催 鑑賞者 741人 <p>○芸術文化団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回遠野市民芸術祭 参加者 575人、鑑賞者 1,285人 ・芸術文化協会等主催事業 会場中ホール等14回開催 参加者 1,096人、鑑賞者 2,505人 <p>○市民協働による活動発表の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 第41回市民の舞台遠野物語ファンタジー「お月お星の涙」開催 参加者 309人、鑑賞者 800人 			

3 ふるさとの文化の継承・創造

(1) 郷土文化の保存と活用 ①博物館活動の推進

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	① 博物館活動の推進
施策の展開に係る全体総括	<p>特別展や企画展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信するとともに、市民向けの講座や小中学校を対象とした博物館教室を開催し、文化に親しむ機会を提供した。</p> <p>また、収蔵庫を整備し、改修中の曲り家千葉家の民具を適切に収蔵管理する環境を整えた。</p>
課題	<p>近年入館者数が減少傾向にあることから、魅力的な企画展や事業を実施し、より多くの方々に来館してもらえるような工夫が必要である。</p>

事業費名	博物館費	平成27年度 決算額	12,192,759円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>特別展や企画展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信し、交流人口の拡大を図った。</p> <p>学校教育に対応した博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図るとともに、豊かな人間性を有する人材の育成に努めた。</p> <p>市民向けに講座を開催し、文化に親しむ機会を提供した。</p> <p>博物館資料の充実と資料の収集、整理、保存に努めた。</p>	評価	達成	
成果	<p>○夏季特別展「遠野物語と妖怪」や企画展「本田健展－山あるき、遠野－」、遠野町家のひなまつり開催に合わせた特別展「遠野のひな人形－ひなまつりの美－」を開く。商工会と連携し、中心市街地への集客に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館入館者数 21,051人 ・特別展「遠野物語と妖怪」 入館者数 8,492人 (会期 平成27年7月24日～9月23日) ・企画展「本田健展－山あるき、遠野－」入館者数 2,718人 (会期 平成27年10月9日～11月23日) ・特別展「遠野のひな人形－ひなまつりの美－」入館者数 1,759人 (会期 平成28年2月12日～3月13日) <p>○児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座等の受講者数 1,159人 			

事業費名	博物館資料整理事業費	平成27年度 決算額	2,613,290円		
担当課	遠野文化研究センター文化課				
取組状況	遠野の宝を次世代に継承するため、旧綾織小学校体育館を収蔵庫として整備し、今後も増加する資料の適切な管理ができる環境を整備した。	評価	達成		
成果	<p>旧綾織小学校体育館を収蔵庫として活用するための周辺環境の整備と資料保管用の棚50台を購入し、改修工事が実施される曲り家千葉家の民具すべてを移設し、適切に収蔵管理する環境を整えることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫中量棚の設置 50台 ・千葉家民具資料等の移設・保管 1,176点 				

(1) 郷土文化の保存と活用 ②図書館活動の推進

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	② 図書館活動の推進
施策の展開に係る全体総括	<p>本に親しむ場所を提供するため、館内で季節ごとの図書の企画展、映画会、ボランティアによる読み聞かせ活動、巡回による貸出し等、利用者の声を反映させながら利用拡大に努めた。</p> <p>また、学校との連携を図りながら、図書の選書、読書ボランティアによる読み聞かせ活動に努めた。</p>
課題	<p>利用者の声を反映させながら、図書の選書の充実、利用しやすい、親しみやすい環境づくりと読書活動を推進する。</p>

事業費名	図書館費	平成27年度 決算額	25,328,679円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出しの利用促進・自主活動グループへの支援と育成を推進した。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○図書の貸出しや図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子どもたちの本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。</p> <p>○児童を対象にした図書館教室、総合学習のための資料の貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用普及を図ることができた。また、職場体験学習を中高生対象に実施したほか、社会体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。</p> <p>○移動図書館車を巡回し、利用者の利便性を図った。</p> <p>○本の読み聞かせなどを自主的に活動しているグループに館内外活動の支援として本の貸出しを実施した。</p> <p>○マイクロフィルムリーダーの更新、図書館車の寄贈（公益社団法人シャンティ国際ボランティア会）を受け、施設整備の充実を図った。</p> <p>・ 図書館の利用者数 17,908人 ・ 市民への図書貸出冊数 67,702冊 ・ 移動図書館車の貸出冊数 11,715冊 ・ 学校図書館への貸出冊数 15,930冊</p>			

(2) 文化財の保存と継承 ①文化財調査・保護保存
②郷土芸能活動の推進

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(2) 文化財の保存と継承
施策の展開	① 文化財調査・保護保存 ② 郷土芸能活動の推進
施策の展開に係る全体総括	重要文化財千葉家住宅の基本構想を策定し、保存修理工事に着手するとともに、緊急性を要した文化財の修理を実施したほか、継続している郷土芸能保存育成、埋蔵文化財保護などの事業においても、概ね目標が達成された。
課題	長期、大規模事業となる重要文化財千葉家住宅保存修理について、進捗状況に応じた柔軟な進行管理を行っていく必要がある。

事業費名	文化財調査保護費	平成27年度 決算額	8,151,290円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>文化や歴史を物語る貴重な文化財の調査・保護、啓発を行うことにより、文化都市としての資質を高め、文化の向上と郷土愛を醸成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財及び一般文化財の調査、保護啓発の実施 ・ 民俗芸能の保存育成支援 	評価	達成	
成果	<p>○市指定文化財 早池峯神社拝殿修理に対して 5,278,000円を補助した。</p> <p>○国登録有形文化財「川前別家」「こびるの家」2棟のキクイムシ駆除を実施して文化財の保護を図るとともに、「鞍迫観音」「重文旧菊池家」の文化財説明板2基を更新して周知に努めた。</p> <p>○郷土芸能の保存育成を目的として、「駒木しし踊り」「穀町南部ばやし」「塚沢早池峰神楽」「湧水神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助した。</p> <p>○「郷土芸能共演会」「神楽共演会」への支援を行った。</p>			

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費	平成27年度 決算額	9,895,693円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>緊急開発に伴う発掘調査、分布調査、試掘調査、調査整理作業の実施と調査報告書の作成を行い、埋蔵文化財の保護及び記録保存を図るとともに、各種開発事業の円滑な実施調整に努めた。</p> <p>企画展示、体験教室等を開催し、埋蔵文化財の活用を図り、文化の向上に努めた。</p>		評価	達成
成果	<p>○各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合、試掘調査を行い、円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。また、市指定史跡「金取遺跡」（宮守町達曾部地区）に関連し、火山灰分析によるデータの収集を行った。</p> <p>○公開活用を視野に、市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、県が管理している市内出土遺物の譲与手続を行い、5遺跡コンテナ269箱分の遺物譲与を受けた。</p> <p>○「高瀬Ⅰ遺跡」「高瀬Ⅱ遺跡」（松崎町白岩・駒木地区）の企画展を開催し、調査成果を公開した。</p> <p>○文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡照会回答 122件 ・試掘調査 7件 ・データベース入力 4遺跡分 814件完了 ・企画展 2回開催 ・埋蔵文化財教室開催 3回開催（参加者75人） 			

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費	平成27年度 決算額	16,200,645円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>国指定重要文化財千葉家住宅の保存活用に係る基本方針を定めるため、重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を開催し、助言指導を受けながら、重文千葉家の活用を考える会とともに保存活用基本構想を策定した。</p> <p>第1期保存修理工事の着手に向け、保存修理のための調査及び実施設計を行った。</p> <p>修理に合わせて、防災施設を適切に整備するため、3カ年で調査を行い、防災設備計画を策定するための1箇年度目の調査を実施した。</p>		評価	概ね達成
成果	<p>○保存活用基本構想の策定</p> <p>重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を4回開催し、基本構想案を検討した。また、市民組織である重文千葉家の活用を考える会と学習会や意見交換会を行ったほか、千葉家まつりを開催し、修理前に活用を実践した。これらの活動を反映させながら、保存活用基本構想を策定した。</p> <p>○保存修理工事</p> <p>第1期保存修理工事のための調査及び実施設計を行った。修理工事に着手するために1,000点を超える家財資料の搬出を行った。着工に向け入札を実施したが不調となったため、平成28年度に予算を繰り越して工事を実施する。</p> <p>○防災施設整備調査</p> <p>消火水槽及び配管の設置を計画するための詳細測量や水量・水質調査など、各種調査を実施した。</p>			

事業費名	文化的景観保存事業費	平成27年度 決算額	18,639,720円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>国重要文化的景観選定地区の土淵町山口にある茅葺きの水車小屋は遠野の代表的な景観として観光ポスターなどに使われてきた。</p> <p>かつて集落の中に複数の水車があったが、現在残るのはこの一棟だけで、遅くとも明治時代までには現在地に建っており、地元で脱穀やワラ打ち等に用いられていた。その後、市が建物を取得し、観光用を目的に管理してきたが、近年屋根や柱、土台の傷みが激しくなり、根本的な修理を行う必要性が生じていた。</p> <p>適切に修理して機能を回復することで「見て使える」水車とし、文化的景観の構成要素としての魅力向上と、それを活用した地域活性化を図った。</p>		評価	達成
成果	<p>○水車小屋を解体修理し、基礎から根本的に修理を行うことができた。</p> <p>○極力当初の部材を再利用しようとしたが、外壁の大部分は新材に交換せざるを得なかった。内部は使用できるように、破損していた搦き臼を交換し、内壁を設置した。工事は市内業者によって伝統工法で行われ、屋根葺きも市内の材料と職人の手によって施工され、伝統的な技術の継承にも繋がった。また、別工事として重要文化的景観地区への案内板を1基設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水車小屋保存修理 22.72㎡ ・水路小水門の設置 2箇所 ・階段の整備 6m ・案内板の設置 1基 			

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費（繰越明許費）	平成27年度 決算額	16,200,645円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>国指定重要文化財千葉家住宅は進入路が限られた特異な立地であるため、防災用道路の整備を行った。</p> <p>法面処理の設計及び工事資材の調達に時間を要したことから、平成27年度に予算を繰り越して工事を実施した。</p>		評価	達成
成果	<p>重要文化財千葉家住宅の災害時の緊急車両の通行路及び避難路として防災用道路（L=183.7m）を整備し、文化財の保護機能及び来場者の安全性の確保に努めた。</p>			

(2) 文化財の保存と継承 ③遠野遺産認定の推進

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(2) 文化財の保存と継承
施策の展開	③ 遠野遺産認定の推進
施策の展開に係る全体総括	遠野遺産認定制度の趣旨に添って新たな遺産を認定するとともに、情報発信に努め目的を達成した。
課題	高齢化による保存活動従事者の減少が懸念されるため、次世代への価値の継承が必要である。

事業費名	遠野遺産認定事業費	平成27年度 決算額	1,904,114円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、遺産の保護活用活動を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進した。</p> <p>市民センター市民協働課との連携により、補助金の適用等、活動に対する助言等を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○新規の遺産2件（伊勢両宮神社と松尾神社、牛頭天王の石碑）と追加1件（藤沢の滝と應瀧神社）を認定し、累計数が143件となった。</p> <p>○遠野遺産表示板等の設置（4基）、郷土芸能用の竿頭綬作成、ガイドブック作成（3,000部）、広報遠野を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。</p> <p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等（青笹しし踊り、熊野神社・六角牛大権現、能傳坊神社、八坂神社、欠ノ上稲荷神社、土淵和野の愛宕様、綾織三社神社、綾織駒形神社）が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p> <p>○認定団体を対象に遠野遺産に関するアンケート調査を実施し、今後の制度運用に関する情報収集を行った。</p>			

4 健康づくりの推進

(1) 健康づくりプログラムの推進 ①健康づくり総合プログラムの推進

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり総合プログラムの推進
施策の展開	① 健康づくり総合プログラムの推進
施策の展開に係る全体総括	健康志向の高まりや広い年齢層への呼びかけもあり、各種教室への参加者が前年比で延べ600人近く増加した。微増ながら運動を習慣として意識付けする方々のきっかけとなった。 また、希望郷いわて国体の開催に備え、子どもを中心とした多くの市民が「国体ダンス」を通じ、リズム運動にトライすることができた。
課題	健康づくり教室では、より多くの市民に運動する楽しさや必要さを実感してもらうよう、参加者の意見を踏まえながら内容の工夫が必要。 子どもの体力アップ事業では、より多くの種目を体験してもらえよう関係する部署と調整したい。

事業費名	健康スポーツプログラム推進事業費	平成27年度 決算額	3,276,703円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	遠野市健康づくり総合大学「とすぽ」による健康づくり教室を本校（市民センター）及びサテライト校（地区センター）で実施し、定期的に運動する機会を提供することにより、健康増進の意識付けを図った。 子どもの体力、運動能力の向上を目指すとともに、運動する習慣付けを図る取組を実施した。	評価	概ね達成	
成果	<p>○健康づくり総合大学「とすぽ」の本校教室では、年間3つの教室を設け、多くの市民が参加し、健康づくりへの意識高揚に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教室 112回開催 延べ 1,750人参加 ・サテライト校 50回開催 延べ 583人参加 <p>○「とすぽ大学祭」では、市制施行10周年記念事業として、市内のスポーツ指導者や中高生、高齢者を対象とし、ユニークな講演及び実技指導技を2日間にわたり開催した。（参加者 180人）</p> <p>○各地区センター（サテライト校）では、冬期間を中心とした健康教室をそれぞれのニーズに対応した内容で開催し、健康づくりに取り組んだ。</p> <p>○幼少期におけるリズム運動や小学校体育での講師派遣事業を実施し、子どもの健康増進と体力向上に努めた。リズム運動では、希望郷いわて国体の開催に向けた「わんこダンス」を継続的に取り入れるなど、普及啓発に取り組んだ。</p> <p>○小学校を対象にした講師派遣事業では、水泳・陸上競技のレベルアップにつなげるなど、子どもの体力づくりにも寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳・陸上教室の開催 24教室 児童延べ 1,238人参加 ・チャレンジ体力アップ 11校 児童 1,280人参加 ・キッズ元気アップ応援隊 13箇所 園児延べ 1,195人参加 			

(1) 健康づくりプログラムの推進 ②スポーツの振興

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり総合プログラムの推進
施策の展開	② スポーツの振興
施策の展開に係る全体総括	トップアスリートによる実技指導及び講演会（元プロ野球選手7名による野球教室、競泳五輪出場経験を有する5名との水泳教室、首都圏大学駅伝部を招いての陸上教室及び講演会など）を開催し、子どもからスポーツ指導者まで幅広く競技力の向上に努めた。
課題	競技者はもとより、観戦、サポートなどあらゆる形でスポーツに親しみを抱いてもらいながら、スポーツ人口の増に結びつけたい。

事業費名	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	平成27年度 決算額	15,069,913円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	多くの市民が、スポーツを通して健康増進と豊かなライフスタイルを実現することができる環境の整備・充実を図った。 児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップを図るなど、競技力の向上に努めた。	評価	概ね達成	
成果	<p>○「第33回日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を平成27年8月23日に開催した。当日は、ホップ収穫祭と隣接会場となり、参加ランナーも気軽に足を運ぶなど、市街地の活性化に寄与した。（1,417人参加、市内438人・市外979人）</p> <p>○スポーツの交流事業として、中高生及びスポーツ関係者を対象とした交流会を開催した。陸上関係では、大学でもトップクラスの監督・選手を招き、実技指導や実体験を交えての講演会を開催し、競技スポーツの向上に務めることができた。</p> <p>○冬期間には、トップアスリートの育成に尽力している指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者らが競技スポーツの指導法について学んだ。</p> <p>○国民体育大会においては、空手、スケートの2種目に3人が出場した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体運営補助 3団体 ・スポーツ講演・実技指導の開催 全3回（計400人参加） ・国民体育大会出場 2種目 3人出場 ・岩手県民体育大会 17種目 236人出場 ・全国高校サッカー選手権大会出場に係る寄附金 3,000,000円 			

IV 外部評価の実施

平成29年3月6日（月）に「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成27年度実施事業）の外部評価会議」を開催し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、学識経験を有する5名の外部評価員に、13ページから48ページまでの「Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検評価の結果」の内容について、下記のとおり意見等をいただきました。

【外部評価員】

（敬称略）

氏名	役職
多田 功一	遠野市校長会会長（青笹小学校長）
石直 典高	遠野市民センター運営協議会会長
木下 敏子	主任児童委員
熊谷 義弘	遠野市スポーツ少年団本部副本部長
松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会委員長

【外部評価員からの主な意見、質疑等】

評価書ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
16	わらすっこプラン推進事業費	<p>○「わらすっこ条例普及啓発事業」の、対話会の開催の趣旨とその成果は。</p> <p>→対話会は、公立（遠野市）と私立（遠野市保育協会）がそれぞれ運営してきた保育を、平成28年度に一元化する前に、お互いの良い面を持ち寄って、融合を図るための研修の機会として実施したものの。</p> <p>→保育協会では、保育士のスキルアップを図る機会として、研究成果を発表しあったり、花巻の生涯学習推進センターから講師を招いて研修を実施したりしている。市としても、研修に係る移動手段の確保など、保育協会への支援を図っていききたい。（子育て総合支援課）</p>
18	子育て支援環境整備事業費	<p>○市立保育所の運営を保育協会に移管するに当たって、平成27年度内に、施設面の課題等は解決が図られたか。</p> <p>→施設の老朽化に伴う設備更新については、移管前に着手できなかった部分もあることから、年次計画を立てながら改善を図っていききたい。（子育て総合支援課）</p>

18	幼稚園、保育所の環境の充実全般について	<p>○「ゼロ歳児の入所希望が集中する施設の増築等を検討する必要がある」ことが課題として挙げられているが、どちらかといえ、保育士不足のほうが課題なのでは。保育所への途中入所も非常に難しいと感じている。</p> <p>→入所児童の多い施設では、特にゼロ歳児のためのスペースが不足しているため、施設の更新や増築について、保育協会との協議を行っている。</p> <p>→保育協会では保育士の数は余裕をもって確保しているが、1人で多くの児童の面倒をみるというのは難しい状況にある。また、もっと多くの保育士を採用したくても、なかなか集まらないという現状や、経営面や少子化に係る問題もある。</p> <p>→4月入所であれば、ほとんどの方が希望する保育所に入所できる状況であり、本年の4月入所についても、全員が第2希望までの中で入所することができている。ただ、ゼロ歳児の途中入所はやはり難しい現状がある。（子育て総合支援課）</p>
18	幼稚園、保育所の環境の充実全般について	<p>○都市部では保育所に入所できない児童が何万人もいるという現状がある中で、遠野市では第2希望までで全員入所できる状態にであるというのはとても恵まれていると思うが、これからは保育士を育てること、人材への投資が必要だと考える。例えば保育士をめざしている子どもたちへの奨学金のような制度を検討していくべきでは。</p>
20	わらすっこの育ち療育支援事業	<p>○のびっこ教室、ジャンプ教室の実施場所を、子育て総合支援センターだけではなく、別の会場でも実施するような取組を検討しているかどうか。</p> <p>→教室に登録している子どもたちが、日曜日に馬の里などで保護者と一緒に活動したりしているが、支援員3人体制で運営しており、活動場所を増やすには、マンパワーが不足しているという状況にある。（子育て総合支援課）</p> <p>○就学前の子どもについては、保育と小学校との連携が重要なので、他の自治体では、相談支援ファイルという形で、年代ごとに子どもたちの情報を引き継ぐ取組も行われているが、このような取組を実施しているかどうか。</p> <p>→平成28年度から、相談支援ファイルの作成を始めており、支援が必要な子どもについて、保育園から情報を引き継いでいく形で作成している。発達支援については、かかわる人全員が情報を共有する、早い段階から支援の密度を高める必要があり、保育士にもスキルアップが求められる。</p> <p>→保育園では、保育士と保護者が、毎日の送り迎えの際に、心配事や気づいたことなど情報交換を行っている。また、子どもの発達については、3歳6箇月と5歳の時点で、検診の中で気づけるような取組を実施するよう、先進地の視察等も行っている。（子育て総合支援課）</p>

21	外国人講師招へい 事業費	<p>○新しい学習指導要領では、小学3・4年生から外国語活動が始まるということで、ネイティブな発音を聴く機会というのは非常に大事だと思うので、今後、ALTが小学校に来る回数を増やしていただきたい。</p> <p>→小学校では、平成32年に外国語が完全授業化される。それに向けて、来年には小学3・4年生の外国語活動が始まることから、教育委員会としては、できれば2週間に1回程度、子どもたちがALTに触れられるような方向で取り組んでいきたいと考えている。(学校教育課)</p>
22	特別支援教育推進 事業費	<p>○特別な支援が必要と判断される前の段階(いわゆるグレーゾーン)にある子どもたちや、その保護者への支援がもっと必要では。</p> <p>○幼稚園児、保育園児のときからのサインを見逃さないよう、幼稚園・保育園と学校との連携やフォローが必要。</p> <p>→幼稚園、保育園の発達段階では判断がつかかねるという場合も多く、保護者の方々の思いもあり、強く踏み込めないという面もある。医師の診断や検査でも、この段階では判断が難しいという部分がある。(学校教育課)</p> <p>→保育園からの情報については、子育て総合支援センターにも入ってきており、相談員や保健師が保育園を回って、のびっこ教室やジャンプ教室につなぐ取組も行っている。教室の見学に来ていただいて、保護者のみなさんの話を聴くことも行っている。(子育て総合支援課)</p>
24	学力向上対策事業 費	<p>○このような事業は、目に見えない部分の取組がたくさんあり、評価を行うのが非常に難しい内容だと思うが、「教員の意識改革が図られ、徐々に授業の質の向上につながっている」という評価となっている。これは、誰がどのように判断、評価したものか。</p> <p>→全国学力調査や県の学力調査では、学力の調査だけでなく、子どもたちに対して様々な設問がされ、それに子どもたち自身が回答している。それらの設問に対する子どもたちの回答の状況から、教育委員会の考え方が浸透してきており、先生方もそのような視点をもって授業に取り組んでいることが、子どもたちにも伝わってきていると考えている。 (学校教育課)</p>
31	学校給食事業費	<p>○アレルギー対応食は準備が大変だと思うが、どのような形で対応しているのか。</p> <p>→主菜について、代替食で対応している。また、アレルギーが気になるという保護者には、毎月詳細献立を事前に配付して使用している食材を確認していただいている。 (学校給食センター)</p>

33	地域教育文化振興事業費	○地域教育協議会は、発足当初は学校をバックアップするという非常にいい活動をしていたと思うが、近年は、その趣旨がだんだん薄れてきているのではないかと感じている。地域教育協議会の構成員の方々が、組織の意義を再確認することができるような場を設定するなど、学校をバックアップする体制の再構築をお願いしたい。
41	図書館費	○市内だけでなく、市外からも多くの方が図書館に来ている。駐車場がもっと広ければ、市外の方ももっと利用しやすくなるのでは。
—	その他	○中学校の段階での、スポーツの選択肢の幅をもっと広げる必要があるのでは。 ○教育委員会が実施する事業は、範囲も広く、ただ事業を行うというものではなく、子どもたちを育てなければならず、そのためには先生方や保護者のみなさんとの人間関係も非常に重要であると思うので、子どもたちのため、また子どもたちを育てる先生方のため、引き続き事業の推進をお願いしたい。

【附属資料】

資料1 第1次遠野市総合計画 後期基本計画

平成27年度まちづくり指標実績

(教育委員会所掌事務関連 27指標)

資料2 平成27年度 主要な施策の成果説明

(教育委員会所掌事務関連 41事務事業)

第1次遠野市総合計画 後期基本計画 平成27年度まちづくり指標実績 (教育委員会所掌事務関連 27指標)

附属資料1

大綱2 健やかに人が輝くまちづくり 4指標

- 1 朝食を食べる子どもの割合
- 2 スポーツ施設利用者数
- 3 老人クラブ加入者数 (累計)
- 4 合計特殊出生率

大綱3 活力を創意で築くまちづくり 2指標

- 1 中学生・高校生の海外派遣数
- 2 姉妹都市への市民派遣数

大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり 19指標

- 1 小学校標準学力検査偏差値
- 2 中学校標準学力検査偏差値
- 3 学習定着度状況調査 (小学校)
- 4 学習定着度状況調査 (中学校)
- 5 学校給食食材に占める地場産物使用割合
- 6 全講座における継続的な学習機会の割合
- 7 市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数

- 8 家庭教育講座等の延べ参加者数
- 9 芸術文化協会加盟団体の自主事業数
- 10 市民協働の芸術文化事業の参加者数
- 11 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数
- 12 博物館入館者数
- 13 博物館講座等の受講者数
- 14 図書館の利用者数
- 15 市民への図書貸出冊数
- 16 移動図書館車の貸出冊数
- 17 学校図書館への貸出冊数
- 18 指定文化財説明板設置件数 (累計)
- 19 民俗芸能の映像記録件数 (累計)

大綱5 みんなで考え支え合うまちづくり 2指標

- 1 各委員、協議会の女性参画率
- 2 地域活動における女性の参画率

Point **1**

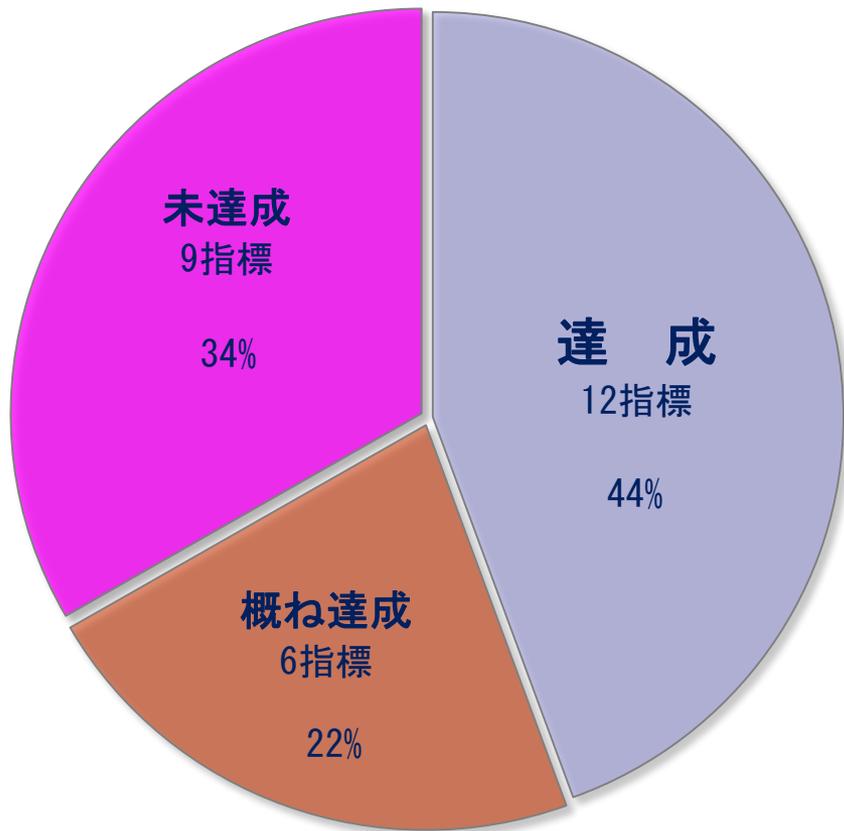
まちづくり指標について

第1次遠野市総合計画 後期基本計画（計画期間：平成23年度～平成27年度）における毎年度の段階的達成目標として、「まちづくり指標」を設定しています。

平成27年度実績

まちづくり指標の総数 27指標のうち

18指標(約66%)が概ね達成



達成

・・・ 12指標 (約44%)

達成率・・・100%以上

概ね達成

・・・ 6指標 (約22%)

達成率・・・90%以上100%未満

未達成

・・・ 9指標 (約34%)

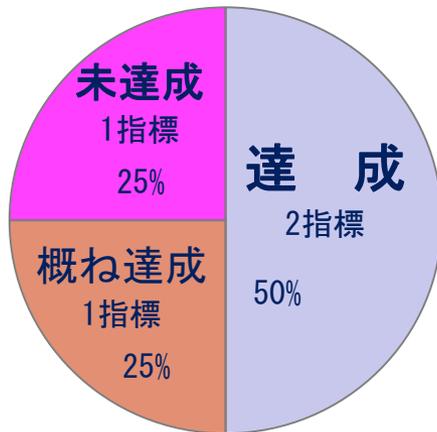
達成率・・・90%未満

※実績なしを含む。

Point **2**

大綱別の達成状況

大綱2 健やかに人が輝くまちづくり 4指標



達成
2指標

- 朝食を食べる子どもの割合
- 合計特殊出生率

概ね達成
1指標

- スポーツ施設利用者数

未達成
1指標

- 老人クラブ加入者数（累計）

大綱3 活力を創意で築くまちづくり 2指標



達成
1指標

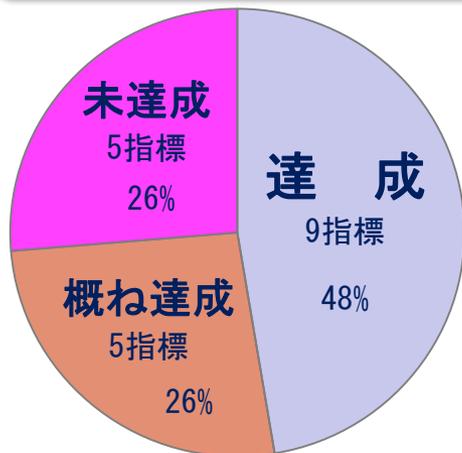
概ね達成
1指標

未達成
2指標

- 中学生・高校生の海外派遣数
- 姉妹都市への市派遣数（平成27年度は実績なし）

大綱別の達成状況

大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり 19指標



達成
9指標

○学校給食食材に占める地場産物使用割合 ○市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数 ○家庭教育講座等の延べ参加者数 ○芸術文化協会加盟団体の自主事業数 ○博物館講座等の受講者数 ○移動図書館車の貸出冊数 ○学校図書館への貸出冊数 ○指定文化財説明板設置件数（累計） ○民俗芸能の映像記録件数（累計）

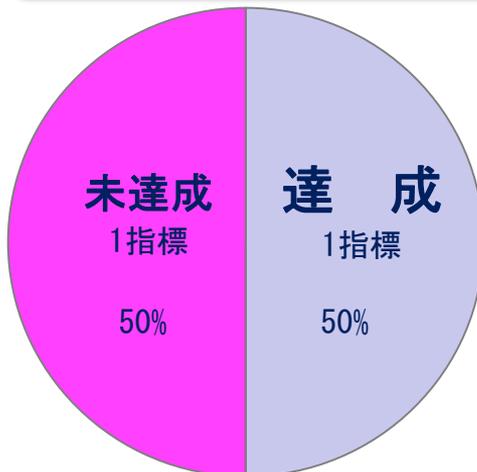
概ね達成
5指標

○小学校標準学力検査偏差値 ○中学校標準学力検査偏差値
○学習定着度状況調査（小学校、中学校）○図書館の利用者数

未達成
5指標

○全講座における継続的な学習機会の割合 ○市民協働の芸術文化事業の参加者数 ○市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 ○博物館入館者数 ○市民への図書貸出冊数

大綱5 みんなで考え支え合うまちづくり 2指標



達成
1指標

○各委員、協議会の女性参画率

概ね達成
1指標

未達成
1指標

○地域活動における女性の参画率

未達成となった9指標の分析

外的要因による未達成指標 4指標

市民等との連携や啓発等の取組が不足したなどの要因により、目標値の90%以上に届かなかった指標

◆ = 達成率が80%以上 90%未満の指標 3指標

- ◆ 老人クラブ加入者数 81.4%
- ◆ 全講座における継続的な学習機会の割合 85.3%
- ◆ 市民への図書貸出冊数 83.0%

● = 達成率が70%以上 80%未満の指標 1指標

- 地域活動における女性の参画率 79.0%

内的要因による未達成指標 4指標

社会情勢や自然環境の変化、東日本大震災、市民センター改修工事等の影響により、未達成となった指標

▼ = 達成率70%未満の指標 4指標

- ▼ 中学生・高校生の海外派遣数 47.4%
- ▼ 市民協働の芸術文化事業の参加者数 69.2%
- ▼ 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 59.2%
- ▼ 博物館入館数 49.5%

平成27年度における 実績がなかった指標 1指標

姉妹都市への市民派遣数

第1次遠野市総合計画 後期基本計画 平成27年度まちづくり指標実績（教育委員会所掌事務関連 27指標）

附属資料1

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					27年度		成果・評価	担当課		
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成状況			達成率	
2 健やかに人が輝く まちづくり (4指標)	1	朝食を食べる子どもの割合	%	91.0	目標値	92.0	93.0	95.0	95.0	95.0	達成	100.9	ライフステージに応じた調理実習、食育講座を行い、食育推進・食習慣の定着に努めた。平成27年度においては、小中学校を対象とした食育講座・講演会を26回行い、朝食を食べる生徒の割合が95.9%と、生徒自身の意識改革にもつながった。 平成23年度からの後期計画においては、生徒児童の基礎知識や興味を大切に食育事業を展開し、平成25年度からは、親子食育講座を行うなど親子での食改善に努め、結果として目標値を6.2%上回る101.2%となった。 平成28年度以降については、①遠野の自然や生産者に感謝②大人も子供もみんなで楽しく食事③後の世代へ伝える遠野の食文化④作る食事は安心安全⑤心かけよう食を通じた健康づくりと災害への備え、を重点項目とした第2次遠野市食育推進計画(とおのっこプラン)を基に、食育推進に努める。	総合食育推進課	
					実績	95.6	93.3	96.1	94.8	95.9					
	2	スポーツ施設利用者数	人	216,509	目標値	216,600	216,700	216,800	216,900	217,000	概ね達成	93.3		運動公園(陸上競技場、多目的運動広場)の改修工事及び国民体育大会に向けた芝生養生のため、利用できない期間も多く利用者が減少した。また、暖冬の影響でスキー場の営業期間も半分となった。 一方、市民センターの体育棟が、平成27年4月にリニューアルオープンしたことや、市民サッカー場(人工芝)のフル稼働により、全体的にはスポーツ施設利用者が目標値に近づくことができた。 人口減少が加速している中、健康増進志向は高まっており、施設を有効に活用した運動を身近なものとしていただくよう個人の取組はもとより、イベント及び教室等、口伝えて広がるよう各地区センターともに周知徹底していく。 後期基本計画中の取組状況としては、施設の大規模な改修工事等により利用者が減少した期間も長く、それに伴い利用者も減少した。しかし、リニューアル施設の周知や各イベントの効果もあり、平成27年度には目標値に近づいた。	生涯学習スポーツ課
					実績	215,070	193,801	181,163	130,958	202,427					
3	老人クラブ加入者数(累計)	人	3,176	目標値	3,170	3,170	3,180	3,190	3,200	未達成	81.4	平成27年度においても、平成26年度から取り組んでいる全国及び県と運動した会員増強運動を呼びかけ、市老連から各単位クラブ等に対し新規会員の掘り起こしに取り組んでいるが、高齢会員の脱会や定年退職後の再雇用、健康状態等による新規加入会員の減少が要因となり、会員の減少が続いている。 後期5箇年においても、スポーツや文化教養などの活動による魅力ある老人クラブ活動に取り組んだことで、老人クラブ会員の生きがいづくりや健康増進の成果は得られたが、上記の要因により目標値の加入者数を達成することはできなかった。 今後も、遠野市老人クラブ連合会の活動を支援し、高齢者の生きがいと健康づくりに取り組むとともに、新規会員拡大につながるよう老人クラブ活動の啓発にも努めていく。	生涯学習スポーツ課		
				実績	3,093	3,038	2,971	2,753	2,604						
4	合計特殊出生率	—	1.86	目標値	1.83	1.83	1.83	1.80	1.80	達成	107.2		わらすっこプランによる事業の推進を図り、特に平成27年度については、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、保育料の利用者負担額を国の基準額の半額程度に設定するなど、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、公立保育所3園を遠野市保育協会に移管したことにより、市内の保育所運営体制の一元化が図られた。 なお、指標である合計特殊出生率については、前年度と比較して0.03ポイント増加しており、これまでも県内においては高い地域として認知されていたところではあるが、平成24年からは、県内14市の中で最も高い地域として維持してきている。 今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市全体として子育てを応援するまちづくりを図り、「子育て応援宣言のまち」をキャッチフレーズにわらすっこ関連事業をさらに発展させ、2.08を目指して施策を展開していく。 ※合計特殊出生率の数値は、岩手県が発表する「保健福祉年報」を適用しており、数値発表までに2年弱を要するため、左記実績値は平成26年の数値である。	子育て総合支援課	
				実績	1.85	1.91	1.90	1.93	1.93						

第1次遠野市総合計画 後期基本計画 平成27年度まちづくり指標実績（教育委員会所掌事務関連 27指標）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					27年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成状況			達成率
3 活力を創意で築く まちづくり (2指標)	5	中学生・高校生の海外派遣数	人	9	目標値	19	14	19	14	19	未達成	47.4	平成2年から始まったアメリカチャタヌーガ市への高校生派遣事業は、平成20年まで行われた(現在休止中)。それとは別に中学生の派遣が平成11年から始まり、今まで多くの中学生が派遣されている。 派遣の継続がきっかけとなり、最近チャタヌーガ市から姉妹都市締結の申出が出てきている。 また、平成28年度からは高校生の派遣も復活することから、今後、ますます交流が盛んになると思われる。	生涯学習 スポーツ課
				実績	9	9	9	9	9					
	6	姉妹都市への市民派遣数	人	19	目標値	—	15	—	50	—	/	/	昭和59年8月の姉妹都市締結以来、今まで多くの両市民が行き来し、交流してきた。 平成26年の姉妹都市締結30周年を記念し、遠野市民51名がサレルノを訪問し、様々な交流を行ってきた。 今回で市民訪問団の訪問回数は延べ14回目を数えたが、関係者の高齢化が今後の交流に影響が出てくるのではないかと懸念される。	生涯学習 スポーツ課
				実績	16	0	—	51	—					
4 ふるさとの文化を 育むまちづくり (19指標)	7	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	53.2	目標値	53.3	53.3	53.4	53.4	53.5	概ね達成	98.5	平成27年度は、目標を概ね達成している状況である。 学年ごと、教科ごとの結果をみると、6年生では理科以外、2年生～5年生では全ての科目で全国平均を上回っている状況である。 各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、各中学校区ごとに取り組んでいる学力向上の取組に繋がっている。 後期5箇年を通じた取組の結果としては、惜しくも目標達成とならなかったが、総じて全国平均を上回る結果となっており、取組の成果が認められており、継続した学力向上の取組を進めることで、次期計画では目標を上回ることができるように取り組む。	学校教育課
					実績	52.5	52.4	53.4	53.8	52.7				
		8	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	50.3	目標値	50.4	50.5	50.6	50.7	50.8	概ね達成	95.5	平成27年度は、目標を概ね達成している状況である。 学年ごとの結果をみると、学年が上がるにつれて全国平均を下回る状況が多くなっており、3年生では全ての教科が全国平均を下回っている。 教科ごとに結果を見ると、数学の落ち込みが特に大きく、1年生では全国平均を上回っているものが、2年生では全国平均を大きく下回る結果となっており、1年生での数学習熟が課題となっている。 各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、各中学校区ごとに取り組んでいる学力向上の取組に繋がっている。 後期5箇年を通じた取組の結果としては、目標を概ね達成している状況となっているが、全国平均を上回ることができるよう、特定の教科に取組を焦点化させていく必要がある。 平成28年度から新たに市内中学校に配置した「特定教科学習支援員」の活用により、家庭学習の工夫をしながら、授業での習熟・理解を高めることで、学力向上を図っていく。
			実績	49.1	48.5	47.7	48.4	48.5						
	9	学習定着度状況調査(小学校)	県平均を上回る点差	1.4	目標値	(+1.6)	(+1.7)	(+1.8)	(+1.9)	(+2.0)	概ね達成	97.5	平成27年度は、小学校5年生で国語、社会、算数、理科の4教科で実施しており、目標には届かなかったが、県平均を上回っており、目標を概ね達成している状況である。 教科ごとの結果をみると、算数と理科では県平均を上回っている状況で、国語と社会はわずかに県平均を下回っている。 各学校においては、この結果をもとにした補充指導を実施しており、授業での習熟・理解が不十分な点についてフォローアップを行っている。また、結果を分析し、次年度の授業改善等の学力向上の取組に生かしている。 後期5箇年を通じた取組の結果としては、目標を概ね達成している状況である。 総じて県平均を上回る結果となっており、継続した学力向上の取組を進めていきたい。 ※カッコ内の数字は県平均との差。	学校教育課
			実績	(+2.1)	(-0.6)	(+1.7)	(-0.2)	(+0.2)	72.1	73.4				
						72.6	71.1	72.6	69.2	69.0				

第1次遠野市総合計画 後期基本計画 平成27年度まちづくり指標実績（教育委員会所掌事務関連 27指標）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					27年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成状況		
	10	学習定着度状況調査(中学校)	県平均を上回る点差	0.0	目標値 (+0.2)	(+0.4)	(+0.6)	(+0.8)	(+1.0)	概ね達成	90.5	平成27年度は、中学2年生で国語、社会、数学、理科、英語の5教科で実施しており、目標を概ね達成している状況である。 教科ごとの結果をみると、社会では県平均を上回っているものの、その他の教科は県平均を下回っている。特に、数学と英語で大きく平均を下回っており、課題と捉えている。 各学校においては、この結果をもとにした補充指導を実施しており、授業での習熟・理解が不十分な点についてフォローアップを行っている。また、結果を分析し、授業改善や家庭学習の充実に生かしている。 後期5箇年を通じた取組の結果としては、目標を概ね達成している状況となっているが、県平均を上回ることができるよう、特定の教科に取組を焦点化させていくことが必要である。 平成28年度から新たに市内中学校に配置した「特定教科学習支援員」の活用により、定着が不十分な事項の復習を進めながら、授業での習熟・理解を高めることで、学力向上を図っていく。 ※カッコ内の数字は県平均との差。	学校教育課
	11	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	63.0	目標値 65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	達成	111.8	遠野産の食材を積極的に活用し、地産地消の推進及び消費拡大を図った。また、遠野まるごと給食を継続したことで、地場産物使用割合が72.7%と過去5年間で最高の割合となった。 後期5箇年においては、食材の生産者・関係団体・給食従事者・児童生徒が食事を共にする事業を継続し、食の大切さや地域の食文化等について語り合うことができた。また、平成25年度に総合食育センターがオープンしたことで、多彩なメニュー及び地場産食材の活用が可能となった。 今後も、生産者及び学校給食を支える関係団体と共に、地産地消を意識した給食メニューを提供する。	学校給食センター
	12	全講座における継続的な学習機会の割合	%	40.9	目標値 40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	未達成	85.3	従来の講座に加えて、市民ニーズの把握を目的とした新たな講座を単発で試行したため、分母(全講座)と分子(継続講座数)の割合が拡大したことによる減少である。 試行後のアンケート等を検証し、シリーズ化できる講座の創設のほか、今後も魅力ある講座の充実を図るため、新たな講座の試行を継続する。	生涯学習スポーツ課
	13	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,682	目標値 4,730	4,760	4,790	4,820	4,850	達成	109.6	情報通信技術の普及により、個人のニーズも様々変わってきている。従来のようにわざわざ出かけなくても自宅を楽しめることもできることから、市民ニーズの把握に努め、魅力ある学級講座を今後も開催する。	生涯学習スポーツ課
	14	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	750	目標値 900	900	950	950	1,000	達成	154.5	平成27年度において、各小中学校・地域教育協議会等主催による家庭教育に関する講座等を実施し、学校や地域の課題に対応した講座を児童・生徒・保護者・教職員等の参加に開催し、家庭教育力の向上に取り組んだ。 特に、ゲーム端末やスマートフォンの普及により、インターネットトラブルや犯罪に巻き込まれる事例が急増していることから、「情報モラル」講座の実施が多く、保護者や教職員、地域が一丸となって、ネットトラブルから子どもたちを守るうとする意識の高まりが感じられた。 後期5箇年では、子どもの健康や読み聞かせ、情報モラルを中心に講演会等を行った。学校と協力して保護者が関心の高いテーマを設定することによって、目標値を達成する多くの保護者の参加を得て家庭教育力の向上にも資することができた。 今後も、家庭や地域の教育課題に応じた講演会等を実施、家庭教育力の向上に取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課
	15	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	12	目標値 12	12	13	13	14	達成	100.0	芸術文化協会への加入団体は現在57団体であり、それぞれ活動発表の場として定期演奏会、市民芸術祭等を利用し自主事業を開催している。 会員の高齢化により活動そのものが停滞することも予想されるが、関係機関団体と連携を図りながら、今後も継続して支援する。	生涯学習スポーツ課

第1次遠野市総合計画 後期基本計画 平成27年度まちづくり指標実績（教育委員会所掌事務関連 27指標）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					27年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成状況			達成率
	16	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	2,099	目標値	1,890	1,900	1,940	1,950	1,980	未達成	69.2	市民センター大ホールの改修中であったことから、別会場での開催により事業内容の縮小等を行ったことによる。 また、人口減少による要因も考えられることから、魅力ある事業を今後も継続して支援を行う。	生涯学習スポーツ課
				実績	2,027	2,293	2,099	1,771	1,371					
	17	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	10,414	目標値	8,000	8,250	8,500	8,750	9,000	未達成	59.2	大ホールが改修中であったことから、別会場での開催となった。結果、鑑賞者数の減少を招いた。 また、人口減少による要因も考えられるが、今後も引き続き芸術文化の向上のため引き続き支援を行う。	生涯学習スポーツ課
				実績	7,508	9,693	8,880	9,792	5,331					
	18	博物館入館者数	人	22,470 (20年度)	目標値	35,000	36,700	38,500	40,500	42,500	未達成	49.5	夏季特別展「遠野物語と妖怪」、冬季に開催した水木しげる追悼コーナー展が話題となり、入館者数は前年度比7%の増加となったが、震災以降の団体者数の減少が影響し、未達成となった。 後期5箇年では、震災後の団体の減少が大きく影響し、目標を達成することができなかったが、魅力ある特別展の開催、博物館講座等の充実を図り、平成26年度まで続いた入館者数の減少に一定の歯止めをかけることができた。 今後も、魅力ある展示や講座・教室等の充実を図り、市内外の来館者の需要を喚起するように努める。	文化課
				実績	22,605	28,014	21,424	19,613	21,051					
	19	博物館講座等の受講者数	人	815	目標値	850	870	880	900	920	達成	126.0	市内小中学校と連携し、通年で博物館教室を開催したほか、特別展に合わせて開催する記念講座、講習会などイベントの充実を図ったことにより、前年度比26%の増加となった。 後期5箇年を通して、講座の充実を図った成果が表れ、平成24年度以降目標を達成することができた。 今後とも、受講者のニーズを把握し、魅力ある講座等を実施するように努めていく。	文化課
				実績	780	909	913	944	1,159					
	20	図書館の利用者数	人	18,089	目標値	19,100	19,300	19,500	19,700	19,900	概ね達成	90.0	本に親しむ場所を提供するため、館内で季節ごとの図書の企画展、映画会、ボランティアによる読み聞かせの活動を行いながら、利用者の拡大に努めた。 後期5カ年を通して、親しみやすい場を目指して、館内での企画展等の充実を図るとともに、児童コーナーを利用した読み聞かせの実施等により目標達成となった。 今後も、利用しやすい、親しみやすい環境づくりに努めていく。	文化課
				実績	20,640	20,638	19,257	17,008	17,908					
	21	市民への図書貸出冊数 ※近年の読書傾向や児童数の減少等から、平成24年度に目標値を見直した。	冊	65,004	目標値	102,000	80,600	81,000	81,300	81,600	未達成	83.0	利用者の声を反映させ、図書の選書の充実、利用しやすい配架に努めながら、利用者への貸出拡大を図った。 後期5箇年を通して、目標値に届かず、平成24年度に見直しを行ったが、目標値を達成できなかった。 今後も、利用しやすい環境づくりに努める。	文化課
				実績	70,682	71,706	70,273	65,905	67,702					
	22	移動図書館車の貸出冊数	冊	10,032	目標値	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600	達成	110.5	巡回による利用者の声を反映させながら、図書の貸出しの拡大に努めた。 後期5箇年を通して、移動図書館の巡回コースの変更など、利用者の声を聞きながら利便性に努め目標を達成することができた。 今後も、巡回コースの利用状況を把握しながら、読書の普及を図る。	文化課
				実績	10,823	11,618	11,243	11,526	11,715					
	23	学校図書館への貸出冊数	冊	12,510	目標値	13,200	13,400	13,600	13,800	14,000	達成	113.8	学校の図書室との連携を図りながら、図書の選書、読書ボランティアによる読み聞かせ活動への図書の充実に向けた活動に努めた。 後期5箇年を通して、小中学生への読書普及と教育環境の充実を図るため、学校図書室と連携して新たに中学校への図書の貸出しを行う等により目標達成となった。 今後も、連携しながら図書の充実、読書推進を図る。	文化課
				実績	13,840	13,600	15,150	15,330	15,930					

第1次遠野市総合計画 後期基本計画 平成27年度まちづくり指標実績（教育委員会所掌事務関連 27指標）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					27年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成状況			達成率
	24	指定文化財説明板設置件数(累計)	基	40	目標値	48	56	64	72	80	達成	112.5	計画を前倒しで実施したことにより、目標を達成した。 後期5箇年計画を通して、劣化しにくい指定文化財説明板を設置し、市民の文化財に対する理解と保護啓発に努めた。 今後とも老朽化した標柱、説明板の更新を行うとともに、未設置となっている指定文化財の説明板を新設し、周知と啓発に努めていく。	文化課
					実績	45	69	80	88	90				
	25	民俗芸能の映像記録件数(累計)	件	17	目標値	19	20	21	22	23	達成	100.0	郷土芸能の保存継承のため、映像記録を計画通り製作し、後期5箇年計画の目標を達成した。 これまでに記録した資料を適切に管理保存していくとともに、未記録の郷土芸能について、映像記録製作を継続し、保存継承に努めていく。	文化課
					実績	19	20	21	22	23				
5 みんなで考え支え 合うまちづくり (2指標)	26	各委員、協議会の女性参画率	%	22.5	目標値	23.0	23.5	23.9	24.4	24.9	達成	110.0	平成27年度は、前年より女性委員のいる審議会数が増えたことなどにより参画率が微増し、目標値を達成することができた。 後期5箇年では、男女共同参画フォーラムの開催や女性団体リーダーの研修会等への参加など、男女共同参画社会の拡大に取り組み、女性委員等の登用にも一定の効果が見られたと考えている。 目標値は達成しているが、今後もあらゆる分野において女性の参画が進み、女性の活躍しやすい社会が広がるよう、市民理解の拡大や機運醸成に努めていく。	生涯学習 スポーツ 課
					実績	20.7	23.8	27.3	27.0	27.4				
	27	地域活動における女性の参画率	%	23.5	目標値	24.4	25.4	26.4	27.5	28.6	未達成	79.0	女性委員の登用や参画率が伸びている一方で、平成27年度は地域活動における女性の参画率は目標値に届かず未達成となった。 後期5箇年の取組において、指標の測定となっている地域活動組織への女性委員の参画率は未達成となったが、地域での催しや地域づくり活動に女性の活躍が大きな役割を果たしており、女性の力が地域を支えている現状は誰もが理解しているところである。 地域活動においては、まだまだ女性が主要な役職に就くことが敬遠され、女性自身も遠慮する傾向にあることから、今後も女性活躍の必要性や重要性について呼びかけていきたい。	生涯学習 スポーツ 課
					実績	23.4	24.2	22.0	21.7	22.6				

平成27年度 主要な施策の成果説明 (教育委員会所掌事務関連 41 事務事業)

民 生 費

- ◆わらすっこプラン推進事業費・・・・・・・・・・・・ 1
- ◆子育て環境育成事業費・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆わらすっこの育ち療育支援事業費・・・・・・・・・・・・ 3
- ◆子育て支援環境整備事業費・・・・・・・・・・・・ 4

衛 生 費

- ◆健康スポーツプログラム推進事業費・・・・・・・・・・・・ 5

教 育 費

- ◆地域教育文化振興事業費・・・・・・・・・・・・ 6
- ◆私立幼稚園就園奨励事業費・・・・・・・・・・・・ 6
- ◆外国人講師招へい事業費・・・・・・・・・・・・ 7
- ◆特色ある学校づくり事業費・・・・・・・・・・・・ 7
- ◆平成・南部藩寺子屋交流事業費・・・・・・・・・・・・ 8
- ◆特別支援教育推進事業費・・・・・・・・・・・・ 8
- ◆遠野わらすっこ「夢の教室」事業費・・・・・・・・・・・・ 9
- ◆いじめ防止等総合対策事業費・・・・・・・・・・・・ 9
- ◆学力向上対策事業費・・・・・・・・・・・・ 10
- ◆育英事業費・・・・・・・・・・・・ 10
- ◆通学対策費（小学校）・・・・・・・・・・・・ 11
- ◆教材整備費（小学校）・・・・・・・・・・・・ 11
- ◆就学援助費（小学校）・・・・・・・・・・・・ 12
- ◆学力向上学校教材等充実事業費（繰越明許費）・・・・ 12
- ◆附馬牛小学校整備事業費・・・・・・・・・・・・ 13

◆通学対策費（中学校）	14
◆教材整備費（中学校）	14
◆就学援助費（中学校）	15
◆プール改修事業費	15
◆遠野中学校屋内運動場改築整備事業費	16
◆遠野西中学校整備事業費	16
◆生涯学習のまちづくり推進費	17
◆芸術文化振興事業費	18
◆都市交流推進事業費	19
◆図書館費	20
◆博物館費	20
◆ブックスタート事業費	21
◆博物館資料整理事業費	21
◆文化財調査保護費	22
◆埋蔵文化財発掘調査費	22
◆遠野遺産認定事業費	23
◆重要文化財千葉家住宅整備事業費	24
◆文化的景観保存事業費	25
◆重要文化財千葉家住宅整備事業費（線越明許費）	25
◆競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	26
◆学校給食事業費	27

※ 平成28年9月に遠野市長が遠野市議会に提出した「平成27年度
 主要な施策の成果説明書」のうち、遠野市教育委員会の所掌事務に
 関連する部分を抜粋しています。

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					わらすっこプラン推進事業費	単位：円
事業内容	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象とした事業を展開する。 1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業			条例・プラン事業の普及啓発 1事業 わらすっこ助成基金事業件数 5件 わらすっこ基金への寄附金 5件 500,000円		
				計画値		
成果	1 市内の保育士が遠野市のこれからの保育を共に考えるため、白梅学園大学 汐見稔幸学長と、遠野市出身で元目黒区立保育園の園長井上さく子氏を招き、対話会を開催した。 日 時：平成27年9月13日（日） 場 所：みやもりホール 参加者：市内外の保育士284名 また、シンガーソングライターの「たかはし べん」氏が、わらすっこ条例の理念に基づき、遠野市の子どもたちの育ちを歌った「わらすっこのうた」を制作し市内の保育所等で歌われるよう寄贈いただいた。 2 遠野わらすっこプラン関連事業における審議や、わらすっこプラン事業等の評価などを審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を年3回開催した。 3 わらすっこ基金助成事業については、「ゆめまち会」「岩手県保育協議会遠野地区双葉会」「NPO法人オヴェンセ」「遠野市図書ボランティアネットワーク」「とおのスポーツアート実行委員会」の5団体に助成金を交付した。 また、わらすっこ基金へ寄附金14件 1,076,300円、運用利子29,374円、合計 1,105,674円を積み立てた。			条例普及啓発事業「対話会」を開催 わらすっこのうた制作 子育て応援宣言普及啓発懸垂幕の制作 4施設 わらすっこ助成基金助成事業 5件 わらすっこ基金への寄附金等 15件 1,105,674円		
				実績値		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
4,355,000	3,684,691	0	0	2,934,674	750,017	

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					子育て環境育成事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（遠野わらすっこプラン）に基づき、認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料または企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成する。</p> <p>このことにより、児童の保護者または企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、もって子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図る。</p>			計画値	ベビーホーム入所児童保育料助成	15人
					企業内託児施設助成	1施設
成果	<p>認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料や企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成したことにより、児童の保護者又は企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図ることができた。</p>			実績値	ベビーホーム入所児童保育料助成	9人
					企業内託児施設助成	1施設
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,220,000	775,000	0	0	0	775,000	

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費			
事業名 わらすっこの育ち療育支援事業費					単位：円		
事業内容	<p>1 何らかの障がい及び発達の遅れ等がある就学前児童に対し、個別活動小集団活動（ホースセラピー、キッズ体操等）を取り入れた療育支援教室を実施することで児童の心身の発達を促す。</p> <p>2 補装具の補助の対象とならない軽中等度難聴児に対して補聴器具の購入費の一部助成を行い、保護者の経済的負担軽減を図る。</p> <p>3 就学している障がい児が、放課後又は休校日に自宅に監護する者がいない等の理由により、市内の社会福祉事業所に通所（以下「日中一時支援事業」という）した際に伴う利用料の自己負担額を助成することにより保護者の経済的負担を軽減し、療育の支援を図る。</p>			計画値	療育支援教室 のびっこ教室 登録人数 10人		
					ジャンプ教室 登録人数 8人		
成果	<p>1 療育支援教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）は、教育委員会や保健医療課、市内各幼稚園・保育園と連携し、個別活動等を通して支援が必要と思われる児童の心身の発達を支援した。 のびっこ教室：心身に発達の遅れが認められる就学前の児童を対象 ジャンプ教室：発達の遅れが生ずるおそれがある就学前の児童を対象</p> <p>2 日中一時支援事業の利用料の自己負担額の全額を助成したことにより、保護者の経済的負担の軽減を図り、児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図った。 対象者 6人 助成金額 163,700円</p>			実績値	療育支援教室 のびっこ教室 登録人数 16人		
					ジャンプ教室 登録人数 12人		
予算額		決算額		財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,210,000		5,040,153		0	0	0	5,040,153

03款	民生費	02項	児童福祉費	05目	保育所費															
事業名					子育て支援環境整備事業費	単位：円														
事業内容	<p>平成28年4月1日から社会福祉法人遠野市保育協会へ移管する市立3幼稚園及び保育所について、運営に必要な改修工事を行い、保育環境の充実を図る。</p> <p>現在の遠野市保育協会の園内施設状況と統一した形で、エアコンの設置等をはじめ、老朽化している保育室等全般の改修工事も併せて施工するものである。</p> <p>また、現在の建物用途は、建築基準法上「幼稚園及び保育所」としてそれぞれ設置しているが、今回の遠野市保育協会としての保育所認可申請においては、建物一体を「保育所」として建築確認申請を提出することになるため必要な改修も併せて実施するものである。</p>				計画	<p>市立宮守幼稚園保育所 市立達首部幼稚園保育所 市立鱒沢幼稚園保育所</p> <p>保育所認可基準、建築基準法、消防法の規定による必要な改修及び全室エアコンを設置</p>														
	成果	<p>1 保育所認可基準、建築基準法、消防法の規定により保育運営に必要な最小限の改修工事を行うことによって、安定的な保育業務が行える環境が整った。</p> <p>現在の遠野市保育協会の園内施設状況と統一した形で、エアコンの設置等をはじめ、老朽化している保育室等全般の改修工事も併せて施工したことから、市内保育園で統一したサービス提供をすることができるようになった。</p> <p>(1) 宮守幼稚園・保育所 排煙窓、非常灯、消火栓、給食室床張替、戸棚改修、物置改修、ステージ塗装、物置小屋解体、砂場ブロック工事、LANケーブル配線等</p> <p>(2) 達首部幼稚園・保育所 排煙窓、非常灯、廊下クロス張替、ホール扉改修、乳児室採光窓、物置小屋解体、玄関タイル改修、雨漏り改修、LANケーブル配線等</p> <p>(3) 鱒沢幼稚園・保育所 体育館通路解体、LANケーブル配線</p> <p>2 市立幼稚園及び保育所の民営化に伴い、「遠野市立幼稚園・保育所の記録誌～みやもり・たっそべ・ますざわのかたち～」を作成し、市立幼稚園及び保育所の軌跡をたどるとともに、記録として後世へ残すことができた。</p>				実績	<p>市立宮守幼稚園保育所 市立達首部幼稚園保育所 市立鱒沢幼稚園保育所</p> <p>保育所認可基準、建築基準法、消防法の規定により必要な改修及び全室エアコンの設置(排煙窓、非常灯消火栓、採光窓、給食室床張替、物置、戸棚等)</p> <p>建設工事 15,866,280円 電気工事 11,200,680円</p> <p>遠野市立幼稚園・保育所の記録誌 300冊作成</p>													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		29,003,000			29,001,965			0					0		21,955,000					7,046,965

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					健康スポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	<p>1 遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」による健康づくり教室を本校（市民センター）及びサテライト校（地区センター）で実施し、定期的に運動する機会を提供することにより健康増進の意識付けを図る。</p> <p>2 子どもの体力、運動能力の向上を目指すとともに、運動する習慣付けを図る。</p>				<p>健康づくり教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校 96回 ・サテライト校 54回 ・とすぼ大学祭 1回 <p>チャレンジ体力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校 11校 キッズ元気アップ応援隊 ・市内保育所等 13カ所 	
					計 画 値	
成果	<p>1 健康づくり総合大学「とすぼ」の本校教室では、年間3つの教室を設け多くの市民が参加し健康づくりへの意識高揚に努めた。「とすぼ大学祭」では、市制施行10周年講記念事業として、市内のスポーツ指導者や中高生、高齢者を対象とし、ユニークな講演及び実技指導技を2日間にわたり開催した。各地区センター（サテライト校）では、冬期間を中心とした健康教室をそれぞれのニーズに対応した内容で開催し、健康づくりに取り組んだ。</p> <p>2 幼少期におけるリズム運動や小学校体育での講師派遣事業を実施し、子どもの健康増進と体力向上に努めた。リズム運動では、国体の開催に向けた「わんこダンス」を継続的に取り入れるなど普及啓発に取り組んだ。小学校を対象にした講師派遣事業では、水泳・陸上競技のレベルアップにつなげるなど、子どもの体力づくりにも寄与した。</p>				<p>健康づくり教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教室112回 延べ1,750人 ・サテライト校50回 延べ583人 <p>とすぼ大学祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技・講演 180人 <p>児童運動能力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳・陸上教室の開催 24教室 児童延べ1,238人 ・チャレンジ体力アップ 11校 児童1,280人 ・キッズ元気アップ応援隊 13カ所 園児延べ1,195人 	
					実 績 値	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
3,900,000	3,276,703	475,000	0	836,400	1,965,303	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円	
事業内容	1 学校・PTA・地域が連携し、地域で家庭教育等を推進するための組織「地域教育協議会」の事業を支援するため補助金を支出する。			計	家庭教育ゼミナール開催 12回		
	2 家庭教育を推進するための講演会への支援を行う。				家庭教育ゼミナール参加者 1,000人 家庭教育講演会 1回		
成果	1 各地区地域教育協議会11団体に補助金を支出し、伝統文化継承や世代間交流、読書活動など地域の特性を活かした地域教育活動を支援した。			実績	家庭教育ゼミナール 14回		
	2 「家庭教育ゼミナール」を市内14会場で実施。情報モラルやメディアの利用方法、子どもの健康・体力づくり、命に関する講演など、多岐に亘る講演会等を実施し、保護者等の家庭教育力向上に努めた。 地域で取り組まれている実践活動について、市内2地域と教育委員会から事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時に開催。地域での取り組みの事例発表や講演会を実施し、子育てへの理解や学校・地域活動の活性化を図ることができた。				家庭教育ゼミナール参加者 1,545人 地域で子どもを育てる活動 発表会・家庭教育講演会 1回、200人参加		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
727,000		629,832		240,000	0	0	389,832

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名					私立幼稚園就園奨励事業費	単位：円	
事業内容	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、幼稚園設置者が保育料等を減免した場合に、国から3分の1以内の補助を受けて就園を奨励する。			計	補助金対象園児数 2園 51人		
	私立幼稚園の園児60人のうち54人（うち1人は市外私立幼稚園）が対象となり、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行ったことにより、保護者の経済的負担を軽減した。				補助金対象園児数 2園 54人		
成果				実績			
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,335,000		7,225,900		2,174,000	0	0	5,051,900

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		外国人講師招へい事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手1人の派遣を受け、市内全小中学校を対象に実施する。			計 画 値	派遣学校数	14校	
					派遣回数	200回	
成果	児童生徒が外国語指導助手の生きた英語に触れることで、コミュニケーション能力の素地を養い、「聞くこと」「話すこと」の英語力の向上を図り、英語を用いて豊かな自己表現をしようとする力が育まれている。			実 績 値	派遣学校数	14校	
					派遣回数	184回	
			内訳：小学校			84回	
			：中学校			100回	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,184,000	4,272,480	0	0	0	4,272,480		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		特色ある学校づくり事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計 画 値	実施学校数	14校	
					実施学校数	14校	
成果	平成27年度も市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開しており、平成27年度は郷土芸能の伝承活動や食育に取り組む学校が多かった。 講師を務める地域住民を通して、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで児童生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれるとともに、地域に開かれた学校づくりの一助となっている。			実 績 値	実施学校数	14校	
					実施学校数	14校	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,398,000	1,272,801	0	0	0	1,272,801		

10款 教育費		01項 教育総務費		02目 事務局費		
事業名 平成・南部藩寺子屋交流事業費					単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 根城南部氏の縁でつながる八戸市とそれぞれの市を相互訪問し、交流活動を行う。</p> <p>日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。</p>			計画値	参加児童	26人
	成果	<p>市内小学校11校を代表する児童が一同に集まり、八戸市児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。 大きな集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしての在り方を学ぶことができた。 他者の視点からふるさとの良さを聞くことで、自らをふりかえることができ、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。</p> <p>1 受入交流 7月27日から7月29日まで八戸市児童45人が来遠 2 派遣交流 8月3日から8月4日まで遠野市児童26人が八戸市を訪問</p>			実績値	26人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
879,000	770,300	0	0	0	770,300	

10款 教育費		01項 教育総務費		02目 事務局費		
事業名 特別支援教育推進事業費					単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。 要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。</p>			計画値	特別支援教育支援員の配置	16人
	成果	<p>1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 【配置校数 小学校11校、中学校2校】 小学校のうち2校は2人配置</p> <p>2 学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができ、児童4人がことばの教室を退級することができた。 【巡回指導実施数 5校、11人】</p>			実績値	15人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
17,099,000	16,184,441	0	0	0	16,184,441	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費			
事業名		遠野わらすっこ「夢の教室」事業費				単位：円		
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、そのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p>			計画値	実施校数	8校	実施回数	7回
	<p>各小学校では「夢の教室」をキャリア教育の一環として、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう位置付けて取り組んだ。 児童たちは、夢先生の話に素直に感動し、夢について語り合い、真剣に考える姿があった。</p> <p>【実施状況】 附馬牛小学校、達曽部小学校、小友小学校と鱒沢小学校（合同開催） 土淵小学校、綾織小学校（5・6年生） 青笹小学校、上郷小学校（5年生）</p>				実績値	実施校数	8校	実施回数
予算額	決算額	財源内訳						
		国県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,558,000	1,254,410	0	0	1,000,000	254,410			

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費			
事業名		いじめ防止等総合対策事業費				単位：円		
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 遠野市いじめ防止等基本方針にあわせて、各種の取り組みを行う。 遠野市生徒指導推進協議会の専門委員会として設置される「遠野市いじめ防止等対策委員会」を開催し、いじめ防止対策について協議する。 また、市内小中学生向けのいじめ防止リーフレットを作成し、いじめの無い学校づくりを推進する。</p>			計画値	委員会の開催	1回	リーフレットの作成	2000部
	<p>平成28年2月に第1回の「遠野市いじめ防止等対策委員会」を開催し、組織体制の確認と、今後のいじめ防止に関する協議を行った。 遠野西中学校が「全国いじめ問題子どもサミット」で発表した取り組みについての情報共有を行い、市内他校に広げていく方針が確認された。 児童生徒及び保護者を対象とした、いじめ防止啓発リーフレット（小学生用・中学生用）を作成した。</p>				実績値	委員会の開催	1回	リーフレットの作成
予算額	決算額	財源内訳						
		国県支出金	地方債	その他	一般財源			
142,000	85,860	0	0	0	85,860			

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費	
事業名					学力向上対策事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。</p> <p>市内小中学生（小2～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施する。その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。</p> <p>教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、その成果を市内小中学校へ還元する。</p>			計 画 値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>	
	成果	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」に取り組んだ。</p> <p>市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校ごとに発表し合い、研究授業の成果を皆で共有することにより、教員の意識改革が図られ、徐々に授業の質向上につながっている。</p> <p>遠野市教育研究所創立10周年記念事業として、講演会の開催及び記念誌の発行を行い、10年の取り組みについて広く情報発信を行った。</p> <p>遠野市教育研究所内及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めたほか、適応指導教室を設置し、様々な要因により登校が困難な生徒に対して、学校への復帰に向けた支援を行った。</p>			実 績 値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,678,000	11,266,432	0	0	0	11,266,432	

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p> <p>【貸与額】 高校生 15,000円以内/月 大学生等 40,000円以内/月</p>			計 画 値	<p>新規奨学生採用数</p> <p>大学生等 30人</p> <p>高校生 5人</p> <p>継続奨学生数</p> <p>大学生等 65人</p>	
	成果	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに35人（大学生等30人、高校生5人）の奨学生を決定し、継続奨学生60人と合わせて95人に奨学金を貸与した。（平成28年3月に貸与期間を満了した者は31人）</p> <p>なお、経済的回復等の自己都合により、年度当初に5人の奨学生から貸与辞退の申出があった。</p> <p>【貸付状況】 新規奨学生 15,300,000円 継続奨学生 28,800,000円 計 44,100,000円</p>			実 績 値	<p>新規奨学生決定数 35人 （大学生等 30人） （高校生 5人）</p> <p>継続奨学生数 60人 （大学生等 60人）</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
44,219,000	44,186,168	0	0	38,289,284	5,896,884	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠野北小学校、小友小学校、附馬牛小学校、土淵小学校、宮守小学校、達首部小学校及び鱒沢小学校に遠距離から通学する児童を対象に、スクールバス及びスクールワゴンを運行するとともに、遠距離から通学する青笹小学校瀬内地区の一部及び上郷小学校来内地区の児童を対象にタクシーを運行する。 遠距離（4 km以上）から小学校に通学する児童を対象に、通学費の助成を行う。 教育課程における児童の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。 			計 画 値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給見込児童数 25人</p>	
	成果	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、スクールバス等を運行し、通学に係る負担の軽減及び通学時の安全を図るとともに、当該児童のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない児童に対しては遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>また、スクールバスの特別運行として、学校運営上必要な行事や市が主催する各種事業等における児童の送迎を行い、スクールバスの有効活用を図った。</p>			績 値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給児童数 22人</p> <p>スクールバス特別運行 許可件数 217件</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
24,575,000	22,360,933	0	0	0	22,360,933	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、理科教育における観察や実験に必要な教材備品を整備する。</p>			計 画 値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科教材備品整備 4校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入、言語活動や読書活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げ等、教育環境の整備充実を図った。</p> <p>また、理科教材備品を整備し、観察や実験を通じた理科教育の充実を図った。</p> <p>【主な理科教材備品の整備内容】 附馬牛小学校：生物顕微鏡、磁化用コイル 等 土淵小学校：実験用冷蔵庫、百葉箱 等 青笹小学校：書画カメラ、百葉箱 等 上郷小学校：書画カメラ、生物顕微鏡 等</p>			実 績 値	<p>教材備品購入数 70品目 図書購入数 1,507冊 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科教材備品整備 4校 購入数 19品目</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
14,076,000	14,016,795	500,000	0	0	13,516,795	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																									
事業名		就学援助費				単位：円																								
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、クラブ活動費、児童会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計 画 値	支給見込児童数 155人																									
	<p>就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災児童12人分の就学援助費（822,666円）については、県補助金(10/10)の対象として、県から市に交付された。</p> <p>【項目及び支給内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（146人）</td> <td>1,580,716円</td> <td>通学用品費（133人）</td> <td>275,962円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（146人）</td> <td>280,900円</td> <td>新入学用品費（13人）</td> <td>266,110円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（37人）</td> <td>890,220円</td> <td>通学費（1人）</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（3人）</td> <td>2,310円</td> <td>児童会費（1人）</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>PTA会費（99人）</td> <td>317,960円</td> <td>学校病医療費（39人）</td> <td>324,070円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（19人）</td> <td>10,480円</td> <td>学校給食費（146人）</td> <td>5,919,381円</td> </tr> </table>				学用品費（146人）	1,580,716円	通学用品費（133人）	275,962円	校外活動費（146人）	280,900円	新入学用品費（13人）	266,110円	修学旅行費（37人）	890,220円	通学費（1人）	8,000円	クラブ活動費（3人）	2,310円	児童会費（1人）	100円	PTA会費（99人）	317,960円	学校病医療費（39人）	324,070円	学校病医療通院費（19人）	10,480円	学校給食費（146人）	5,919,381円	実 績 値	支給児童数 149人
学用品費（146人）	1,580,716円	通学用品費（133人）	275,962円																											
校外活動費（146人）	280,900円	新入学用品費（13人）	266,110円																											
修学旅行費（37人）	890,220円	通学費（1人）	8,000円																											
クラブ活動費（3人）	2,310円	児童会費（1人）	100円																											
PTA会費（99人）	317,960円	学校病医療費（39人）	324,070円																											
学校病医療通院費（19人）	10,480円	学校給食費（146人）	5,919,381円																											
予算額	決算額	財源内訳																												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
10,395,000	9,876,209	833,666	0	0	9,042,543																									

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費										
事業名		学力向上学校教材等充実事業費（繰越明許費）				単位：円									
事業内容	<p>平成27年度における小学校教科書の改訂に伴い、小学校教師用教科書（下巻）及び指導書（下巻）を購入し、学校教材の充実を図ることにより、学力の向上に資する。</p> <p>上巻については、新学期から使用することができるよう平成26年度に購入し小学校に整備済であるが、下巻については平成27年度の夏期に発行されることから、事業を平成27年度に繰り越して実施する。</p>			計 画 値	整備見込数 教師用教科書 300冊 教師用指導書 300冊										
	<p>平成27年度における小学校教科書の改訂に合わせ、教師用教科書、指導書及び指導資料を整備し、学校教材の充実を図った。</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>教師用教科書</td> <td>445冊</td> <td>156,465円</td> </tr> <tr> <td>教師用指導書</td> <td>432冊</td> <td>4,204,565円</td> </tr> <tr> <td>指導資料</td> <td>159点</td> <td>1,521,878円</td> </tr> </table>				教師用教科書	445冊	156,465円	教師用指導書	432冊	4,204,565円	指導資料	159点	1,521,878円	実 績 値	教師用教科書 445冊 教師用指導書 432冊 指導資料 159点
教師用教科書	445冊	156,465円													
教師用指導書	432冊	4,204,565円													
指導資料	159点	1,521,878円													
予算額	決算額	財源内訳													
		国県支出金	地方債	その他	一般財源										
6,017,000	5,882,908	0	0	0	5,882,908										

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					附馬牛小学校整備事業費	単位：円
事業内容	平成26年度に旧附馬牛中学校校舎を附馬牛小学校校舎に転用するための整備を実施したことに伴い、校庭に遊具を整備し、教育環境のさらなる充実を図る。			計画値	遊具購入	
	成果	ジャングルジムなど6基の遊具を整備した。 外で体を動かすことにより、児童の健康な体づくりや運動能力の向上を図ることができた。また、子ども同士のコミュニケーションツールとしても期待される。			実績値	遊具購入 6基 ・ジャングルジム ・大型肋木 ・四連式ブランコ ・すべり台 ・山型雲梯 ・低鉄棒
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,302,000	3,301,560	0	0	0	3,301,560	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費
事業名 通学対策費					単位：円
事業内容	遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 ・遠野中学校、遠野東中学校及び遠野西中学校に遠距離から通学する生徒を対象に、スクールバス及びスクールワゴンを運行する。 ・遠距離（6 km以上）から徒歩で中学校に通学する生徒を対象に、通学費の助成を行う。 ・教育課程における生徒の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。			計画値	スクールバス等の運行18台 （中学校3校 各6台） 遠距離通学費補助金 支給見込生徒数 10人
	成果	遠距離から中学校に通学する生徒のため、スクールバス等を運行し、通学に係る負担の軽減及び通学時の安全を図るとともに、当該生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対しては遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 また、スクールバスの特別運行として、学校運営上必要な各種行事やクラブ活動等における生徒の送迎を行い、スクールバスの有効活用を図った。			実績値 遠距離通学費補助金 支給生徒数 5人 スクールバス特別運行 許可件数 237件
予算額		決算額	財源内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
49,384,000	47,645,273	0	0	0	47,645,273

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費
事業名 教材整備費					単位：円
事業内容	中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 また、国の補助事業を活用し、理科教育における観察や実験に必要な教材備品を整備する。			計画値	教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材整備 3校
	成果	教育活動に必要な教材備品の購入や、言語活動や読書活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータ等の借上げ等、教育環境の整備充実を図った。 また、理科教材備品を整備し、観察や実験を通じた理科教育の充実を図った。 【主な理科教材備品の整備内容】 遠野中学校：検流計、薬品庫 等 遠野東中学校：教材提示装置、水平斜面実験台 等 遠野西中学校：書画カメラ、デジタル気体チェッカー 等			実績値 教材備品購入数 27品目 図書購入数 673冊 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材整備 3校 購入数 16品目
予算額		決算額	財源内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
9,564,000	9,277,862	500,000	0	0	8,777,862

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					就学援助費	単位：円
事業内容	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。			計画値	支給見込生徒数	97人
	成果	就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災生徒4人分の就学援助費(544,178円)については、県補助金(10/10)の対象として、県から市に交付された。 【項目及び支給内訳】 学用品費(92人) 2,001,360円 通学用品費(59人) 126,366円 校外活動費(92人) 310,717円 新入学用品費(33人) 777,150円 修学旅行費(27人) 1,931,878円 クラブ活動費(90人) 2,020,640円 生徒会費(91人) 197,000円 PTA会費(79人) 184,270円 学校病医療費(9人) 63,180円 学校給食費(91人) 4,448,868円			実績値	支給生徒数
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,437,000	12,061,429	553,178	0	0	11,508,251	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					プール改修事業費	単位：円
事業内容	遠野西中学校のプール設備を改築し、生徒が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。			計画値	遠野西中学校 プール改築工事 工事監理業務委託	
	成果	平成27年11月の国庫補助金の追加決定を受け、工事及び監理業務の入札発注を行ったため、年度内の工事完了が困難であることから、平成28年度に事業費43,736,000円を繰り越した。 平成27年度内に既存プールの解体が完了し、平成28年4月から建築工事を進めており、2学期からの使用が予定されている。			実績値	既存プール解体
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
81,150,000	37,414,000	0	35,500,000	0	1,914,000	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野中学校屋内運動場改築整備事業費	単位：円
事業内容	遠野中学校の屋内運動場は、平成3年の建築後24年が経過していることから、平成26年度に実施した改修設計業務の内容に沿った施設の大規模改造工事を実施する。			計画値	屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託	
	【事業の概要】 工期 平成27年8月から平成28年3月まで 工事内容 屋根の塗装・雨漏り修理、内外壁の補修、照明のLED化、設備機器の更新等					
成果	大規模改造工事により、懸案事項であった天井の雨漏りが解消された。また、節電対策として照明設備をLED化したほか、トイレ等の衛生器具や火災報知設備の更新により、施設の長寿命化が図られた。工事完了後は、社会教育団体等に対する一般開放事業を再開し、多数の団体が利用している。			実績値	屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託 延べ床面積 1944,63㎡	
	【建築】 外壁：RC部塗装替、サイディング張替、鉄部塗装替等 屋根：カバー工法縦平葺き、既存横葺き部塗装替等 その他：内部床・壁・天井仕上げ改修、設備機器更新等 【機械設備】 照明器具及び情報表示設備並びに火災報知設備交換					
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
133,055,000	133,017,120	39,259,000	57,500,000	0	36,258,120	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野西中学校整備事業費	単位：円
事業内容	遠野西中学校の教育環境の充実を図るため、平成24年度の給食受入室新築整備、平成26年度の旧宮守給食センターを活用した多目的ホール改修に続き両施設周辺の外構工事を行う。			計画値	外構工事	
	多目的ホール及び給食受入室周辺のアスファルト舗装を行ったことにより給食搬入車の出入りがスムーズになったほか、多目的ホールからの物品等の搬入・搬出が容易に行えるようになった。				外構工事 アスファルト舗装 374㎡	
成果				実績値		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,500,000	3,459,240	0	0	0	3,459,240	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費															
事業名					生涯学習のまちづくり推進費	単位：円														
事業内容	1 地区センターを地域社会教育の拠点として、各種の講座を開催する。 2 生涯学習講座や芸術振興事業について業務を委託し、充実を図る。				各地区センター受講者 2,410人 業務委託の実施															
					計 画 値															
成果	1 各地区センターで手芸や料理等の手づくり講座など、地域のニーズ把握に努め、各種講座を開催した。 2 生涯学習講座、芸術振興事業に関し業務委託を実施し、民間活力を活かした事業の充実を行った。 (1) 生涯学習講座 IT講座、郷土理解講座、絵画教室等 62回開催 延べ 844人 青少年活動サポート事業 少年少女ふるさと発見探偵団 6回開催 延べ 217人 囲碁・将棋教室 8回開催 延べ 153人 (2) 芸術振興事業 レジェンドコンサート(6月20日) 鑑賞者 317人 落語二人会 (8月9日) 鑑賞者 188人 TSUKEMEN LIVE (9月27日) 鑑賞者 236人 遠野市民センターバレエスタジオ 第38回発表会 参加者40人 鑑賞者 210人 遠野少年少女合唱隊 第26回発表会 参加者17人 鑑賞者 100人				各地区センター受講者 2,365人 業務委託の実施															
					実 績 値															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		53,774,000		49,811,071				0					0		10,522,700				39,288,371	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					芸術文化振興事業費	単位：円
事業内容	1 市民センター自主事業の開催 2 芸術文化団体への支援を行い、活動発表等による芸術文化の高揚を図る。 3 市民協働による活動発表の場を提供する。				計画	1 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 14回 2 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,980人 3 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 9,000人
	成果	1 市民センター自主事業の開催 (1) レジェンドコンサート 6月20日 鑑賞者 317人 (2) 上方落語「米朝一門会」 8月9日 鑑賞者 188人 (3) TSUKEMENコンサート 9月27日 鑑賞者 236人 2 芸術文化団体へ支援 (1) 第10回遠野市民芸術祭(10月18日、24日、25日、31日、11月1日) 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 参加者575人、鑑賞者1,285人 (2) 芸術文化協会等主催事業 中ホール4回 参加者70人、鑑賞者585人 あえりあ遠野3回 参加者125人、観賞者650人 みやもりホール6回 参加者220人、鑑賞者900人 その他会場1回 参加者15人、鑑賞者60人 3 市民協働による活動発表の提供 第41回市民の舞台遠野物語ファンタジー「お月お星の涙」開催 2月19日、20日の3回公演 参加者309人、鑑賞者800人				実績
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,207,000	2,207,000	0	0	0	2,207,000	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					芸術文化振興事業費	単位：円
事業内容	1 市民センター自主事業の開催 2 芸術文化団体への支援を行い、活動発表等による芸術文化の高揚を図る。 3 市民協働による活動発表の場を提供する。				計画	1 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 14回 2 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,980人 3 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 9,000人
	成果	1 市民センター自主事業の開催 (1) レジェンドコンサート 6月20日 鑑賞者 317人 (2) 上方落語「米朝一門会」 8月9日 鑑賞者 188人 (3) TSUKEMENコンサート 9月27日 鑑賞者 236人 2 芸術文化団体へ支援 (1) 第10回遠野市民芸術祭(10月18日、24日、25日、31日、11月1日) 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 参加者575人、鑑賞者1,285人 (2) 芸術文化協会等主催事業 中ホール4回 参加者70人、鑑賞者585人 あえりあ遠野3回 参加者125人、観賞者650人 みやもりホール6回 参加者220人、鑑賞者900人 その他会場1回 参加者15人、鑑賞者60人 3 市民協働による活動発表の提供 第41回市民の舞台遠野物語ファンタジー「お月お星の涙」開催 2月19日、20日の3回公演 参加者309人、鑑賞者800人				実績
予算額		決算額	財源内訳			
2,207,000	2,207,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	0	2,207,000	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					都市交流推進事業費	単位：円
事業内容	東京都武蔵野市との児童交流を行い、それぞれの地域特性を生かした体験を通じひとづくり、まちづくりを進める。			計画値	武蔵野市児童交流 姉妹都市遠野訪問団交流 20人程度	
	成果	武蔵野市とは隔年で受入事業と派遣事業を相互に行っており、平成27年度は武蔵野市からの受入事業を実施した。事業を通じ、地域性の違いや相互の生活様式を理解し交流を深めた。 実施日：10月10日～12日（2泊3日）			実績値	武蔵野市児童交流受入 児童20人 引率3人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
437,000	378,205	0	0	0	378,205	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					図書館費	単位：円														
事業内容	読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を推進する。			計 画 値	図書館の利用者数	19,900人														
					市民への図書貸出冊数	81,600冊														
成果	図書の貸出や図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子どもたちの本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。児童を対象にした図書館教室、総合学習のための資料の貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用普及を図ることができた。また、職場体験学習を中高生対象に実施したほか、社会体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。移動図書館車を巡回し利用者の利便性を図った。本の読み聞かせなどを自主的に活動しているグループに館内外活動の支援として本の貸し出しを実施した。マイクロフィルムリーダーの更新、図書館車の寄贈（公益社団法人シャンティ国際ボランティア会）を受け、施設整備の充実を図った。			実 績 値	図書館の利用者数	17,908人														
					市民への図書貸出冊数	67,702冊														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		25,581,000		25,328,679		0		0		31,146									25,297,533	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					博物館費	単位：円														
事業内容	特別展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「遠野物語と妖怪」、企画展「本田健展」、特別展「遠野のひな人形」を開催する。学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。市民向けに講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。博物館資料の充実に努め、資料の収集、整理、保存に努める。			計 画 値	博物館入館者数	42,500人														
					博物館講座等の受講者数	920人														
成果	夏季特別展「遠野物語と妖怪」や企画展「本田健展 - 山あるき、遠野 - 」遠野町家のひなまつり開催に合わせた特別展「遠野のひな人形 - ひなまつりの美 - 」を開く。商工会と連携し、中心市街地への集客に努めた。児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。 1 特別展「遠野物語と妖怪」入館者数 8,492人 会期 平成27年7月24日～9月23日 2 企画展「本田健展 - 山あるき、遠野 - 」入館者数 2,718人 会期 平成27年10月9日～11月23日 3 特別展「遠野のひな人形 - ひなまつりの美 - 」入館者数 1,759人 会期 平成28年2月12日～3月13日			実 績 値	博物館入館者数	21,051人														
					博物館講座等の受講者数	1,159人														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		12,878,000		12,192,759		0		0		6,743,236									5,449,523	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名		ブックスタート事業費			単位：円															
事業内容	<p>遠野市に生まれた赤ちゃんとその親、家族が本をとおしたふれあいの中から互いに幸せを感じ成長するための機会をつくる。 生まれた時から、本とふれあうことにより本に興味を持ってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本とバックの配布 ・絵本の紹介 ・「ボランティアグループわらべ」による絵本の読み聞かせ ・遠野市立図書館の利用案内 			計画値	読み聞かせ回数	12回														
					対象者	190組														
成果	<p>健康福祉の里において、1歳児健康相談時に配布実施した。 参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じての配布を実施した。</p> <p>対象者 162組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳児健康相談時に配布 126組 ・民生児童委員による配布 36組 ・対象者に対する配布率 100% 			実績値	読み聞かせ回数	12回														
					対象者	162組														
予	算	額	決	算	額	財		源		内		訳								
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名		博物館資料整理事業費			単位：円															
事業内容	<p>旧綾織小学校体育館を収蔵庫として整備し、今後も増加する資料の適切な管理ができる環境を整えることにより、遠野の宝を次世代に継承する。 収蔵庫に中量棚を設置し、千葉家民具資料等の移設を行う。</p>			計画値	収蔵庫中量棚の設置	50台														
					千葉家民具資料等の移設・保管	1176点														
成果	<p>旧綾織小学校体育館を収蔵庫として活用するための周辺環境の整備と資料保管用の棚50台を購入し、改修工事が実施される曲り家千葉家の民具すべてを移設し、適切に収蔵管理する環境を整えることが出来た。</p>			実績値	収蔵庫中量棚の設置	50台														
					千葉家民具資料等の移設・保管	1176点														
予	算	額	決	算	額	財		源		内		訳								
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化財調査保護費	単位：円
事業内容	文化や歴史を物語る貴重な文化財の調査・保護、啓蒙により、文化都市としての資質を高め、文化の向上と郷土愛の醸成に資する。 (1) 指定文化財及び一般文化財の調査、保護啓発の実施 (2) 民俗芸能の保存育成支援			計 画 値	民俗芸能の映像記録件数 平成27年度 23件（累計）	
	成果	市指定文化財早池峯神社拝殿修理に対して 5,278,000円を補助。国登録有形文化財「川前別家」「こびるの家」2棟のクイムシ駆除を実施して文化財の保護を図るとともに、「鞍迫観音」「重文旧菊池家」の文化財説明板2基を更新して周知に努めた。 また、郷土芸能の保存育成を目的として、「駒木しし踊り」「穀町南部ばやし」「塚沢早池峰神楽」「湧水神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助した。活動支援を目的として「郷土芸能共演会」「神楽共演会」に支援を行った。			実 績 値	文化財保護審議会 2回 文化財修理補助 2件 郷土芸能備品補助 4件 活動支援補助 2件 文化財説明板設置件数累計 90基 民俗芸能映像記録件数累計 23件
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,709,000	8,151,290	299,000	0	208,354	7,643,936	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	緊急開発に伴う発掘調査、分布調査、試掘調査、調査整理作業、調査報告書作成により埋蔵文化財の保護及び記録保存を図るとともに、各種開発事業の円滑な実施調整に努め、企画展示及び体験教室等を開催し埋蔵文化財の活用を図り文化の向上に資する。			計 画 値	発掘調査等 1式 文化財教室 2回	
	成果	各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。また、市指定史跡「金取遺跡」(宮守町達曽部地区)に関連し火山灰分析によるデータの収集を行った。 公開活用を視野に市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、県が管理している市内出土遺物の譲与手続を行い、5遺跡コンテナ269箱分の遺物譲与を受けた。「高瀬 遺跡」「高瀬 遺跡」(松崎町白岩・駒木地区)の企画展を開催し調査成果を公開した。 文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。			実 績 値	遺跡照会回答 122件 試掘調査 7件 データベース入力 4遺跡分814件完了 企画展開催 2回 埋文教室開催 3回 (参加者75人)
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,055,000	9,895,693	2,471,542	0	30,794	7,393,357	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	<p>市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、遺産の保護活用活動を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。</p> <p>活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。</p>			計 画 値	<p>認定件数 3 件 応募数 3,000部 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産標示板設置 4 基 遠野遺産認定旗 11枚</p>	
	成果	<p>新規の遺産 2 件（伊勢両宮神社と松尾神社、牛頭天王の石碑）と追加 1 件（藤沢の滝と應瀧神社）を認定し、累計数が 143件となった。</p> <p>遠野遺産表示板等の設置、郷土芸能用の竿頭綬作成、ガイドブック作成、広報遠野を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。</p> <p>また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等（青笹しし踊り、熊野神社・六角牛大権現、能傳坊神社、八坂神社、欠ノ上稲荷神社、土淵和野の愛宕様、綾織三社神社、綾織駒形神社）が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p> <p>認定団体を対象に遠野遺産に関するアンケート調査を実施し、今後の制度運用に関する情報収集を行った。</p>			<p>認定件数 3 件 応募数 3,000部 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産標示板設置 4 基 遠野遺産認定旗 11枚</p>	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,181,000	1,904,114	0	0	1,700,000	204,114	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費															
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費	単位：円														
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅の保存活用に係る基本方針を定めるため、重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を開催し助言指導を受けながら、重文千葉家の活用を考える会とともに保存活用基本構想を策定する。 保存修理のため調査及び実施設計を行い第1期保存修理工事に着手する。また、修理に合わせて、防災施設を適切に整備するため、3カ年で調査を行い防災設備計画を策定するための1カ年度目の調査を実施する。</p>			計画	保存活用委員会 3回 保存活用基本構想策定 保存修理工事実施設計 防災設備整備調査 保存修理工事（共通仮設工事及びハセ小屋解体）															
	成果	<p>1 保存活用基本構想の策定 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を4回開催し基本構想案を検討した。また、市民組織である重文千葉家の活用を考える会と学習会や意見交換会を行ったほか、千葉家まつりを開催し、修理前に活用を实践した。こうした活動を反映させながら保存活用基本構想を策定した。</p> <p>2 保存修理工事 第1期保存修理工事のための調査及び実施設計を行った。修理工事に着手するために、1,000点を超える家財資料の搬出を行った。着工に向け入札を実施したが不調となったため、平成28年度に繰り越して工事を実施する。</p> <p>3 防災施設整備調査 消火水槽及び配管の設置を計画するための詳細測量や、水量・水質調査などの各種調査を実施した。</p>				実績	保存活用委員会 4回 千葉家まつり開催 保存活用基本構想策定 保存修理実施設計 家財資料移転 防災施設整備調査													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		40,852,000			16,200,645				8,411,000				0			0				7,789,645

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化的景観保存事業費	単位：円
事業内容	<p>国重要文化的景観選定地区の土淵町山口にある茅葺きの水車小屋は、遠野の代表的な景観として観光ポスターなどに使われてきた。かつて集落の中に複数の水車があったが、現在残るのはこの一棟だけで、遅くとも明治時代までには現在地に建っており、地元で脱穀やワラ打ち等に用いられていた。その後、市が建物を取得し、観光用の観覧を目的に管理してきたが、近年屋根や柱、土台の傷みが激しくなり、根本的な修理を行う必要性が生じていた。今回適切に修理して機能を回復することで、「見せるだけ」から「見て使える」水車とし、文化的景観の構成要素としての魅力向上と、それを活用した地域活性化が期待できる。</p>			計画値	水車小屋保存修理	22.72㎡
	成果	<p>水車小屋を解体修理し、基礎から根本的に修理を行うことができた。極力当初の部材を再利用しようと努めたが、外壁の大部分は新材に交換せざるを得なかった。内部は使用できるように、破損していた搦き臼を交換し、内壁を設置した。工事は市内業者によって伝統工法で行われ、屋根葺きも市内の材料と職人の手によって施工され、伝統的な技術の継承にも繋がった。また、別工事として重要文化的景観地区への案内板を1基設置した。</p>			実績値	水車小屋保存修理
水路小水門の設置		2力所	階段の整備	6m		案内板の設置
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
18,658,000	18,639,720	9,243,000	7,400,000	1,300,000	696,720	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅は進入路が限られた特異な立地であるため、早急に防災用道路の整備を行う。法面処理の設計及び工事資材の調達に時間を要したことから、平成27年度に繰り越して工事を実施する。</p>			計画値	防災用道路工事	L=183.7m
	成果	<p>重要文化財千葉家住宅の災害時の緊急車両の通行路及び避難路として防災用道路を整備することができ、文化財の保護機能及び来場者の安全性の確保に努めた。</p>			実績値	防災用道路工事
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
24,853,000	24,851,688	15,122,000	0	0	9,729,688	

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	<p>多くの市民がスポーツを通して健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備・充実を図る。 児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップを図るなど競技力の向上に努める。</p>			計 画 値	<p>遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人 スポーツ団体運営補助 3団体</p>	
	成果	<p>第33回目となる「日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を8月23日に開催した。当日は、ホップ収穫祭と隣接会場となり、参加ランナーも気軽に足を運ぶなど市街地の活性化に寄与した。 スポーツの交流事業として中高生及びスポーツを関係者を対象とした交流会を開催した。陸上関係では、大学でもトップクラスの監督、選手を招き実技指導や実体験を交えての講演会を開催し、競技スポーツの向上に務めることができた。 また冬期間には、トップアスリートの育成に尽力している指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者らが競技スポーツの指導法について学んだ。 国民体育大会では、空手、スケートの2種目に3人が出場した。</p>			実 績 値	<p>遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,417人 (市内438人、市外979人) スポーツ団体運営補助 3団体 スポーツ講演・実技指導会の開催 全3回 (講演・実技指導400人) スポーツ少年団全国大会出場 3単位団 国民体育大会出場 2種目 3人 岩手県民体育大会出場 17種目 236人 全国高校サッカー選手権大会出場に係る寄附金 3,000,000円</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
15,280,000	15,069,913	552,000	0	50,000	14,467,913	

10款	教育費	06項	保健体育費	02目	学校給食費	
事業名					学校給食事業費	単位：円
事業内容	<p>市内小中学校の児童生徒に、学校給食を通し栄養バランスのとれた食事を提供し健康増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成することを目標として学校給食を実施する。学校給食の実施にあたっては、遠野産の食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、衛生管理を徹底し、安全安心でおいしい給食の提供に努める。</p> <p>給食実施校数 小学校 12校（うち1校は特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は特別支援学校） 給食供給人数：2,296人 年間給食実施回数：小中学校 168回</p>			計画値	<p>年間供給食数 385,728食 米飯回数 129回 パン回数 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 65%</p>	
	成果	<p>給食には、遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を安全かつ確実に提供することができた。また、高度な衛生管理体制が構築されたことにより、多彩なメニューやアレルギー対応食等の提供が可能になった。学校給食の試食の機会をPTAや学校関係者だけでなく、一般の方にも提供し、試食後のアンケートをその後の学校給食献立に反映させることができた。</p>			実績値	<p>年間供給食数 380,391食 米飯回数 129回 パン回数 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 72.7%</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
207,737,000	207,185,919	0	0	102,728,201	104,457,718	